

2024年度（2025年改訂版） 事業概要

東京都公立大学法人
Tokyo Metropolitan Public University Corporation



目次

法人概要	2
法人の沿革	4
各大学、大学院、高専の設置状況	4
組織図	5
中期目標	6
教職員数	7
財務状況	8
東京都との連携	10
TMUサステナブル研究推進機構	10
社会貢献 産学公連携活動	11
学生支援	12
数字で見る都立大・産技大・高専	13
東京都立大学	16
東京都立産業技術大学院大学	42
東京都立産業技術高等専門学校	48
アクセスマップ	54
問合せ	56

世界的課題を解決する新しい知を生み出す場所へ

日本、東京の国際競争力を高める人材育成と研究力強化

2025年度から東京都公立大学法人理事長に就任した中山泰男です。

本法人は2大学（東京都立大学、東京都立産業技術大学院大学）1高専（東京都立産業技術高等専門学校）を有し、第四期中期計画に則り取組を着実に進めています。

都立大学では今年度から国際金融人材育成プログラムを開設し、既存の各学科への英語学位プログラムの導入と2028年度の国際系新学部の設置に向けた準備を開始します。産業技術大学院大学では産業技術界の次世代に対応できるDXリーダーを養成する教育プログラムが文部科学省の補助事業に採択されました。また、産業技術高等専門学校ではDCON2024（注）において振り込め詐欺防止のシステム開発が最優秀賞に輝くなど、まさに社会課題の解決に資す

る取組として成果をあげています。

日本が近年、スイスのIMD等の世界競争力ランキングにおいて評価を落とす中、東京は世界の主要都市の総合力を評価する「世界の都市総合ランキング2024」で9年連続3位と高い評価を得ており、まさしく日本経済の牽引者としての役割を果たしています。そして日本経済がようやく長いデフレを脱し、縮小型から成長型へと好循環に乗り始めた今、東京はその牽引者として一層の国際競争力強化を図っていく必要があります。東京には首都が有する集積の力と多様性という大きな強みがあり、ここから生まれるイノベーションの力が、世界における日本の位置づけを高める原動力となります。

（注）第5回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024

本法人は、東京都が設置した「大都市における高等教育機関」として、その都市力を大いに活用し、国際競争力を高める人材育成と研究力強化に邁進していきます。

都立大学における国際系新学部の設置は、その梃子になります。日本人学生の海外留学及び外国人留学生をともに大きく増やし、互いに切磋琢磨し世界的課題に対処できるグローバル人材として成長する環境を整えていきます。また、世界を見据えた研究力のさらなる強化を図るため、外国及び日本の優秀な研究者が活躍できる環境も整えていきます。産業技術大学院大学及び産業技術高等専門学校では、内外の変化の激しい環境の下での産業界・金融界の課題やニー

ズに応えられる即戦力となる高度専門職人材やものづくりスペシャリストを育成するため、都立大学との一層の連携を図りつつ、私がこれまで培ってきたネットワークも駆使し、両業界とのコミュニケーションを活性化していきます。

私はこうした努力の積み重ねにより、本法人を、世界的課題を解決する新しい知を生み出し、その知を活かして世界で活躍できる人材を輩出する場所、日本及び東京をはじめとする社会の持続的成長を起こし支える教育・研究のプラットフォームとして、社会に貢献していきたいと考えています。

東京都公立大学法人
理事長

中山 泰男



法人概要

【名 称】

東京都公立大学法人
（2020年3月31日まで公立大学法人首都大学東京）

【設立年月日】

2005年4月1日

【所在地】

東京都新宿区西新宿2-3-1

【役 員】

理事長	中山 泰男	
副理事長	大橋 隆哉	（東京都立大学学長）
	橋本 洋志	（東京都立産業技術大学院大学学長）
	野間 達也	（東京都公立大学法人事務局長）
理事	吉澤 昌純	（東京都立産業技術高等専門学校校長）
	津村 博文	（東京都立大学副学長）
	山下 英明	（東京都立大学学長特任補佐）
	ウスビ サコ	（国際担当）
監事	鵜瀬 恵子	（非常勤）
	岡村 俊克	（非常勤）

【審議機関】

ア. 経営審議会
法人の経営に関する重要事項を審議します。

□ 構成員

中山 泰男	（理事長）
大橋 隆哉	（副理事長）
橋本 洋志	（副理事長）
野間 達也	（副理事長）
吉澤 昌純	（理事）
津村 博文	（理事）
山下 英明	（理事）
ウスビ サコ	（理事）
今市 涼子	（学外委員）
桜井 伝治	（学外委員）
渡邊 光一郎	（学外委員）

イ. 教育研究審議会

法人の設置する大学ごとに設置し、当該大学の教育研究に関する重要事項を審議します。

東京都立大学教育研究審議会
東京都立産業技術大学院大学教育研究審議会

2025年4月1日現在

法人の沿革

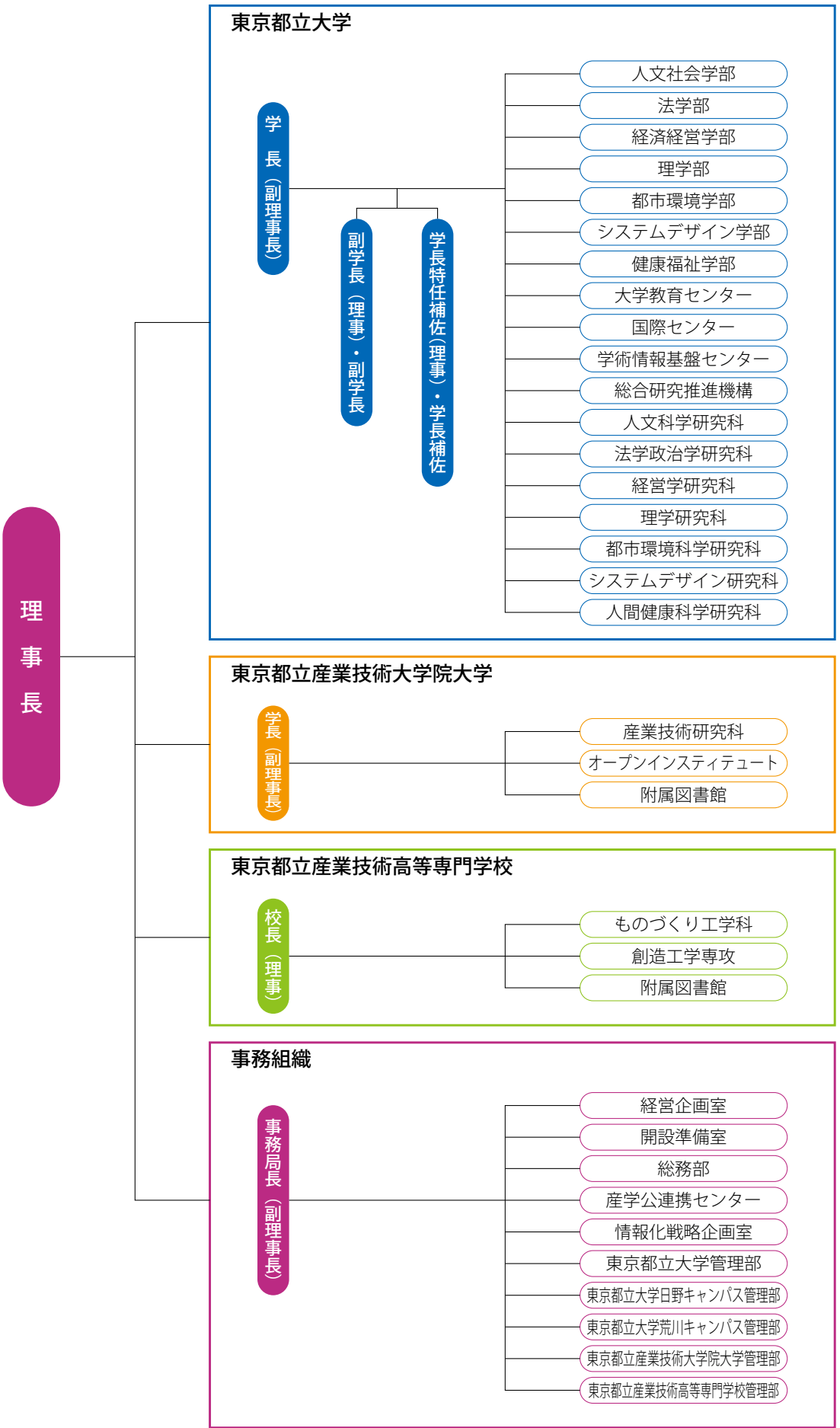
- 2001年 2月 「東京都大学改革基本方針」策定
- 2001年11月 「東京都大学改革大綱」策定
- 2003年 8月 「都立の新しい大学の構想」発表
- 2004年12月 定款が都議会で議決
- 2005年 3月 法人設立認可
- 2005年 4月 公立大学法人首都大学東京設立、首都大学東京開学
- 2005年 6月 産業技術大学院大学設置に伴う定款変更が都議会で議決
- 2005年12月 定款変更認可
- 2006年 4月 変更した定款施行、産業技術大学院大学開学、東京都立産業技術高等専門学校開校
- 2007年10月 東京都立産業技術高等専門学校設置者変更に伴う定款変更が都議会で議決
- 2008年 2月 定款変更認可
- 2008年 4月 変更した定款施行、東京都立産業技術高等専門学校移管
- 2019年 3月 公立大学法人首都大学東京、首都大学東京及び産業技術大学院大学の名称変更に伴う定款変更が都議会で議決
- 2019年 6月 定款変更認可
- 2020年 4月 変更した定款施行、公立大学法人首都大学東京から東京都立大学法人、首都大学東京から東京都立大学、産業技術大学院大学から東京都立産業技術大学院大学へ名称変更



各大学、大学院、高専の設置状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012～2019年度	2020～2024年度
東京都立大学(学部・専攻科) ※2005年度～2019年度まで首都大学東京		設置							設置	専攻科
東京都立大学 東京都立科学技術大学 東京都立保健科学大学	最終募集	学部4年			経過存続期間			閉学		
東京都立短期大学(本科)	最終募集		経過存続期間	閉学						
東京都立大学大学院 ※2005年度～2019年度まで首都大学東京大学院			設置	博士前期2年	博士後期3年					
東京都立大学大学院 東京都立科学技術大学大学院 東京都立保健科学大学大学院	最終募集	修士2年	博士3年	経過存続期間	博士3年	経過存続期間		廃止		
東京都立産業技術大学院大学 ※2006年度～2019年度まで産業技術大学院大学			設置	情報アーキテクチャ専攻(2021年度廃止)						産業技術専攻 ・事業設計工学コース ・情報アーキテクチャコース ・創造技術コース
東京都立産業技術高等専門学校 (本科・専攻科)		設置			■法人に移管					
東京都立工業高等専門学校 東京都立航空工業高等専門学校	最終募集	本科5年			■法人に移管			閉校		

組織図



中期目標

(第四期中期目標期間 2023年度～2028年度)

前文

東京都公立大学法人（以下「法人」という。）は、大都市における人間社会の理想像を追求することを使命とし、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、教育研究機関、産業界等との連携を通じて、大都市に立脚した教育研究の成果を上げ、豊かな人間性と独創性を備えた人材を育成し、もって都民の生活及び文化の向上に寄与することを目的として、東京都が設立した。

法人は、この使命及び目的を達成するため、東京都立大学、東京都立産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校、すなわち「2大学1高専」を管理運営している。

2大学1高専は、東京都との緊密な連携の下、次代の東京を担う人材の育成、新たな知の創造、大都市課題解決につながる研究等、「都立」の高等教育機関ならではの教育研究活動を推進するとともに、その成果を都民や地域社会に還元し、さらには世界へと波及させることが求められている。

一方、高等教育機関を取り巻く環境は、近年大きく変化しつつある。

気候変動危機をはじめとして、現代社会が直面する様々な問題は、グローバルな規模で発生し、高度に複雑化している。個人や組織が単独で解決できるようなものではなく、学术界、産業界、行政、地域社会等が、立場や垣根を越えて力を結集しなければ、対応が困難である。

また、こうした中、第4次産業革命とも言われる技術革新により、社会の構造変化が加速度的に進んでいる。諸外国は、デジタルトランスフォーメーションや脱炭素などの成長分野において研究開発や人材育成にしのぎを削っており、日本の国際的プレゼンスの低下が顕在化している。

このような情勢において、高等教育機関が果たすべき役割は、ますます高まっている。少子化の進行、グローバル化等に伴い、国内外で学校間の競争が激化する中、社会の期待に応える質の高い教育研究活動をどのように展開していくのか、学校の経営戦略の在り方が問われている。

こうした状況を踏まえ、法人は、四期目となる今回の中期目標期間において、次の四点を柱とし、社会に貢献する多様な教育研究活動を積極的に展開していくこととする。

(社会との価値共創)

- 東京都のシンクタンクとしての役割を発揮し、複雑化・高度化する都政課題の解決に向けて、専門的知見やノウハウを最大限活用していく。
- 産業界、区市町村、地域社会等とのつながりを一層深め、企業等の成長支援、生涯学習の提供等、産業の振興や都民生活の充実に資する様々な取組を推進していく。
- こうしたステークホルダーに対する働きかけを主体的に行い、社会への貢献を積極的に果たしていく。
→社会における多様な主体との連携・協働を進め、価値を共創

(教 育)

- デジタル、金融、医療等、将来の東京の成長を支える分野に重点を置き、教育プログラムの拡充に取り組んでいく。
- 社会人が自らの知識やスキルをアップデートできるよう、ニーズを踏まえた質の高いリカレント教育を幅広く提供していく。
→社会の変化に柔軟に対応し、力を発揮できる人材を育成

(研 究)

- 強みのある学術領域において、世界最先端の研究、社会課題の解決に資する研究、産業振興に貢献する研究等を戦略的に推進し、その成果を社会に積極的に還元していく。
- 有為な研究人材の確保・育成や研究環境の充実等の取組を総合的に進め、研究力の向上を図る。
→世界に新たな知を生み出す高度な研究を推進

(法人運営)

- 教育研究活動等のマネジメントや組織運営を支える中核人材の育成など、ガバナンスの強化と組織基盤の充実を図っていく。
→2大学1高専のパフォーマンスを最大限に引き出す戦略的な法人経営を展開

教職員数

(2024年5月1日現在)

■教員数

(単位：人)

区 分		教 授	准教授	助 教	助 手	合 計
東京都立大学	人文社会学部	61 (18)	34 (8)	18 (8)	0 (0)	113 (34)
	法学部	27 (4)	10 (2)	5 (1)	0 (0)	42 (7)
	経済経営学部	21 (2)	16 (1)	3 (2)	0 (0)	40 (5)
	理学部	40 (1)	44 (5)	30 (5)	1 (1)	115 (12)
	都市環境学部	44 (4)	34 (4)	31 (4)	0 (0)	109 (12)
	システムデザイン学部	54 (3)	31 (5)	31 (4)	0 (0)	116 (12)
	健康福祉学部	26 (11)	34 (20)	15 (9)	0 (0)	75 (40)
	大学教育センター	8 (1)	21 (8)	2 (1)	0 (0)	31 (10)
	総合研究推進機構	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	学術情報基盤センター	1 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (1)
	国際センター	2 (1)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (3)
小 計		285 (45)	230 (55)	136 (35)	1 (1)	652 (136)
東京都立産業技術大学院大学		18 (1)	1 (0)	8 (1)	0 (0)	27 (2)
東京都立産業技術高等専門学校		53 (7)	53 (4)	13 (2)	0 (0)	119 (13)
合 計		356 (53)	284 (59)	157 (38)	1 (1)	798 (151)

※学長並びに役員である副学長及び学長特任補佐は含まない。役員として職員内訳に含めてカウントしている。

※（ ）内は女性で内数

■職員数

(単位：人)

区 分	役 員	職 員					合 計
		都派遣	固 有			人材派遣	
			正規職員	特定任用	非常勤契約		
法人全体（経営企画室、総務部、 産学公連携センター）	9（ 1）	27（ 3）	74（ 36）	3（ 0）	9（ 6）	8（ 8）	130（ 54）
東京都立大学	0（ 0）	17（ 4）	256（181）	37（22）	101（55）	17（15）	428（277）
東京都立産業技術大学院大学	0（ 0）	3（ 1）	17（ 11）	2（ 1）	7（ 3）	4（ 3）	33（ 19）
東京都立産業技術高等専門学校	0（ 0）	1（ 1）	40（ 24）	1（ 1）	21（ 8）	7（ 7）	70（ 41）
合 計	9（ 1）	48（ 9）	387（252）	43（24）	138（72）	36（33）	661（391）

※（ ）内は女性で内数

財務状況

2024年度 予算（セグメント別）

(単位：百万円)

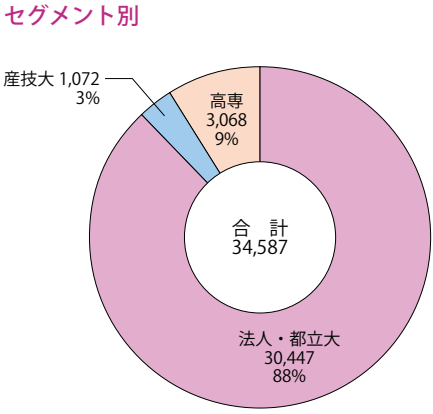
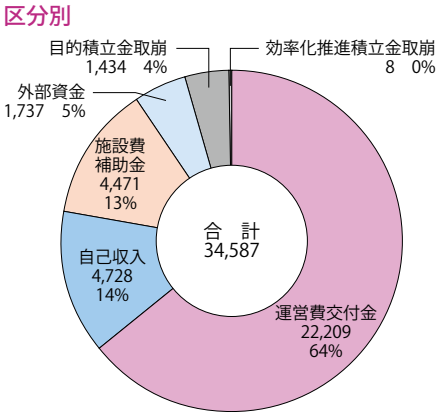
区 分	合 計	セグメント		
		法人・都立大	産技大	高専
収入				
運営費交付金	22,209	18,579	895	2,736
施設費補助金	4,471	4,384	0	87
自己収入	4,728	4,366	135	227
授業料及入学検定料収入	3,812	3,501	133	177
その他収入	916	864	2	50
外部資金	1,737	1,676	42	18
目的積立金取崩	1,434	1,434	0	0
効率化推進費積立金取崩 ※	8	8	0	0
合 計	34,587	30,447	1,072	3,068
支出				
業務費	28,379	24,411	1,029	2,939
教育研究経費	21,502	18,428	772	2,302
管理費	6,877	5,982	257	638
施設整備費	4,471	4,384	0	87
外部資金研究費等	1,737	1,676	42	18
合 計	34,587	30,471	1,071	3,044

〔人件費の見積り〕 期間中総額 13,346百万円を支出する。(退職手当は除く。)

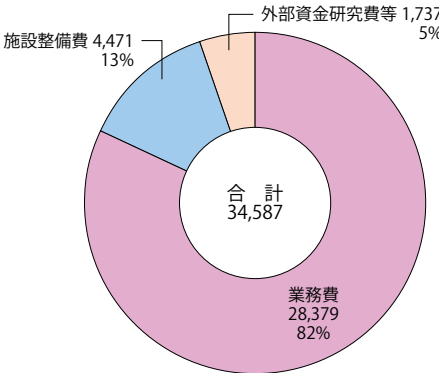
※ 効率化推進積立金は、法人の効率的な運営の推進を図ることにより、今後の標準運営費交付金の通減に備え、新たに生じる需要に的確に応えることを目的として積み立てられてた基金である。

※ 各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがある。

2024年度収入予算（単位：百万円）



2024年度支出予算（単位：百万円）



2023年度 予算・決算

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額（決算－予算）
収入			
運営費交付金	19,940	19,836	△ 104
施設費補助金	3,419	3,027	△ 392
自己収入	6,028	7,256	1,228
授業料及入学検定料収入	5,314	5,254	△ 60
その他収入 ※ 1	714	2,002	1,288
外部資金 ※ 2	1,866	2,537	671
目的積立金取崩 ※ 3	1,806	1,299	△ 507
効率化推進積立金取崩 ※ 4	－	－	－
合 計	33,059	33,956	897
支出			
業務費 ※ 5	27,774	25,618	△ 2,156
教育研究経費	21,307	19,174	△ 2,133
管理費	6,467	6,444	△ 23
施設整備費 ※ 6	3,419	3,027	△ 392
外部資金研究費等	1,866	2,494	628
合 計	33,059	31,139	△ 1,920
収入－支出	－	2,817	2,817

※ 1 その他収入については、令和3年度に発生した東京都立大学南大沢キャンパスの火災に係る火災保険金の入金等により予算積算上の計画額と実際の収入額に差が生じ、予算金額に比して決算金額が1,288百万円多額となっている。

※ 2 外部資金については、寄附金収入と受託研究費等収入の増加等により予算積算上の計画額と実際の収入額に差が生じ、予算金額に比して決算金額が671百万円多額となっている。

※ 3 目的積立金取崩については、教育研究の質の向上のための環境整備等の実施に努めたために取り崩したものである。

※ 4 効率化推進積立金は、法人の効率的な運営の推進を図ることにより、今後の標準運営費交付金の通減に備え、新たに生じる必要な需要に的確に応えることを目的として、積み立てる基金だが、各種節減努力等により、取り崩す必要がなかった。

※ 5 業務費については、各種節減努力等により予算積算上の計画額と実際の執行額に差が生じ、予算金額に比して決算金額が2,156百万円少額となっている。

※ 6 施設整備費については、入札による契約差金等により予算積算上の計画額と実際の執行額に差が生じ、予算金額に比して決算金額が392百万円少額となっている。

※ 各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計などに一致しないことがある。

財務状況の推移（2018年度～2024年度）

(単位：百万円)

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
収入													
運営費交付金	18,344	18,208	17,444	17,313	20,408	20,404	20,336	20,083	23,094	23,055	19,940	19,836	22,209
施設費補助金	2,956	2,527	2,989	2,907	2,996	2,881	3,094	2,555	2,715	2,651	3,419	3,027	4,471
自己収入	5,893	5,832	5,876	5,861	5,860	5,578	5,676	5,527	5,661	5,560	6,028	7,256	4,728
授業料及入学検定料収入	5,593	5,503	5,562	5,519	5,522	5,380	5,359	5,287	5,371	5,318	5,314	5,254	3,812
その他収入	301	329	314	342	338	198	318	239	290	242	714	2,002	916
外部資金	1,769	1,673	1,656	1,595	1,470	1,823	1,383	1,894	1,457	2,295	1,866	2,537	1,737
目的積立金取崩額	450	307	735	476	165	113	119	86	2,737	1,768	1,806	1,299	1,434
効率化推進積立金取崩額	683	14	700	0	500	0	516	0	612	431	－	－	8
合 計	30,095	28,561	29,400	28,151	31,398	30,799	31,124	30,145	36,275	35,761	33,059	33,956	34,587
支出													
業務費	25,370	23,793	24,755	23,375	26,933	24,032	26,647	24,264	32,103	29,911	27,774	25,618	28,379
教育研究経費	18,971	17,764	18,103	17,118	20,392	18,142	20,159	18,350	25,573	23,268	21,307	19,174	21,502
管理費	6,399	6,029	6,652	6,257	6,541	5,889	6,488	5,914	6,531	6,643	6,467	6,444	6,877
施設整備費	2,956	2,527	2,989	2,907	2,996	2,881	3,094	2,555	2,715	2,651	3,419	3,027	4,471
外部資金研究費等	1,769	1,721	1,656	1,588	1,470	1,468	1,383	2,037	1,457	2,236	1,866	2,494	1,737
合 計	30,095	28,041	29,400	27,869	31,398	28,381	31,124	28,856	36,275	34,798	33,059	31,139	34,587
収入－支出	0	520	0	282	0	2,418	0	1,289	0	963	0	2,817	0

※ 効率化推進積立金は、法人の効率的な運営の推進を図ることにより、今後の標準運営費交付金の通減に備え、新たに生じる必要な需要に的確に応えることを目的として、積み立てられた基金である。

※ 各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがある。

東京都との連携

高度化・多様化する行政課題の解決に貢献

東京都公立大学法人では、東京都のシンクタンク機能としての役割を果たすために、学内に集積された知見など（＝シーズ）を活用し、東京都や各種研究機関が抱える様々な行政課題（＝ニーズ）の解決に貢献しています。

東京都との連携においては、様々な行政ニーズに応えるため、施策プロジェクトの内容に応じて、学部・研究科の枠を越えた分野横断型の研究チームを組成し、専門家による英知を集結して都市型の問題解決に取り組んでいます。

今後も、各校の知見を活用した共同研究や東京都各局等の人材育成へのサポートなど、シンクタンク機能としての役割を果たすため、積極的に連携を図っていきます。

スタートアップ調査

都政の良きアドバイザーとして、東京都各局からの相談・要望にタイムリーに応えるための仕組みです。

東京都との連携を促進するために、将来、連携プロジェクト等につながる可能性のある研究課題に対して、東京都立大学が予備研究費（200万円／件）を負担し、事業化までの橋渡しを行っています。

TMUサステナブル研究推進機構

東京都公立大学法人では、環境問題をはじめとするSDGsの課題解決に役立つ調査研究機能を強化するため、2022年1月に「TMUサステナブル研究推進機構」を設置しました。

本機構では「サステナビリティ」をテーマに、アカデミズムの立場から都政の課題解決に資する調査研究を推進し、研究成果を都政に還元するとともに、東京都への政策提案、ホームページへの掲載を通じた成果発信を行っています。

●（参考）研究分野及び取組例



社会貢献 産学公連携活動

産学公連携センター

産学公連携センターは、研究による学術貢献を展開するとともに、産業界や公的研究機関との連携により、学術研究の成果を広く社会に還元し、独創的な技術や製品の開発に寄与するなど、産学公の連携を通じた新産業や雇用創出による社会貢献を図っています。



■産学公連携の推進

以下の活動により2大学1高専の知的資源を活用し、産学公連携を推進しています。

◆関係機関との情報交流

試験研究機関や他大学等の関係機関との連携や企業が求めるニーズ情報の収集により、活発な情報交流を進めるとともに、新しい提案を行っています。

◆知的財産の活用

研究成果を広く社会に還元するため、知的財産の創出、取得、管理、活用というサイクルを効率的に運営するための活動を行っています。

◆技術相談

企業が直面する技術的課題等について、大学の資源や独自の情報網を活用して、きめ細かに対応しています。また、相談内容に応じて、大学教員や関係機関などと連携し、地域産業の振興に取り組んでいます。

◆大学等発ベンチャー支援

本学に所属する教職員、学生等が設立に関与するベンチャー企業や、本学の研究成果に基づく知的財産権を事業化する目的で設立された大学発ベンチャーへの支援を行っています。

◆共同研究等の推進

産業の振興を図り、首都東京をはじめとする大都市の活力を高めるため、企業等との共同研究、受託研究、寄附金及び学術相談等を積極的に推進していきます。

◆広報活動

セミナー・フォーラムの開催やイベントへの出展等により、大学が有するシーズ情報の積極的なPRを行い、新たな出会いの場を創出しています。

■各種実績（2023年度）

(1) 技術相談等 …… 392件

(2) 知的財産業務実績 (単位：件)

知的財産出願	著作物・成果有体物等	知的財産権利化	発明相談
62	3	43	60

(3) 研究情報などの発信

区 分	内 容
2023年度 JST・東京都立大学 新技術説明会	JST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）と都立大の共催イベントで都立大の特許シーズ5件を都立大教員からオンライン開催で紹介した。視聴申込者は579名、当日視聴者は372名であった。10社の個別相談を実施し、後日、産学連携を見据えた追加面談を3件実施した。
大学見本市2023～イノベーション・ジャパン	3年ぶりに、東京ビッグサイトでの実地開催となり、都立大教員が微細加工に関するシーズを出展した。当日は200以上のブース来訪があり、4件の産学連携につながった。
BioJapan2023	都立大教員とバイオ・医療機器・ヘルスケアの技術分野を扱う企業との連携を増やすべく、「疾病予測」や「医療機器」、「医薬品等製造設備」、「バイオマテリアル・医薬」に関連する研究シーズ5件についてパシフィコ横浜にて出展した。首都圏ARコンソーシアムと共同ブースで出展し、約50社のブース来訪があった。
アグリビジネス創出フェア	農業分野での応用先を探索すべく、都立大教員から放射線源測定技術に関する研究シーズ1件について東京ビッグサイトにて出展した。多数の企業、官公庁のブース来訪があり、都立大教員による技術紹介のプレゼンテーションも実施した。
nano tech 2023（第22回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議）	都立大の材料、測定、加工等に関連する研究シーズ6件について、東京ビッグサイトにて出展した。また、昨年に引き続き都立大教員の研究室の研究シーズについても同ブースにて紹介した。研究シーズ資料のダウンロードは104件、140以上のブース来訪があり、各種研究シーズに関する追加情報の提供等の要望があった。



学生支援

学生生活支援

奨学金、授業料減免、学生寮など、学生生活を総合的にサポートするためのきめ細かい支援を行っています。

奨 学 金

●日本学生支援機構

経済的理由により修学が困難な学生等（採用基準あり）に対する奨学金で、給付型と貸与型（無利子・有利子）があります。

●民間・地方公共団体等

民間団体や地方公共団体が募集する奨学金で、給付型と貸与型があります。

●法人独自

東京都立産業技術大学院大学キャリアアップ応援奨学金（東京都立産業技術大学院大学）／東京都立大学法人大学院生支援奨学金（東京都立大学／東京都立産業技術大学院大学）

入学科減免制度

経済的理由により入学科の支払いが極めて困難な学生を対象として入学科を減額又は免除する制度です。

授業料減免制度

東京都内の子育て世帯に向けた授業料の支援及び経済的理由により授業料の納入が極めて困難な学生や、成績優秀な私費留学生を対象として授業料を減額又は免除する制度です。

授業料分納制度

経済的理由により各期の授業料の一括納入が困難な場合に、授業料を分割して納入できる制度です。

学 生 寮

東京都立大学では、南大沢キャンパスに学生寮を設置しています。

課外活動支援

学生が充実した大学生活を送れるよう、課外活動の円滑な運営を支援しています。

学生教育研究災害傷害保険

大学における教育研究活動中の災害に対する災害補償制度を取り扱っています。

ボランティア活動支援

ボランティアセンターでは、社会のボランティアリーダーとなり得る人材の育成に向け、学外からのボランティア募集情報の提供や、東京都立大学独自のボランティアプログラムの推進など、学生がボランティア活動を通して社会に参加し、社会のニーズと向き合うなかで、一人一人の可能性を広げられるようなサポートを行っています。



学 生 相 談

学生相談室において、学生生活で生じる様々な悩みや心配事について、専門の教員及び心理カウンセラーによるカウンセリングを実施しています。



健 康 管 理

保健室において、学校保健安全法に基づく定期健康診断をはじめ、応急処置・健康相談等、心身ともに健全で有意義な学生生活が送れるようにサポートを行っています。

キャリア・就職支援

学生が、自己の将来を見据え目標を持って、主体的に知識や能力を培い、社会人として活躍できるよう、低学年次から一貫した支援を行っています。

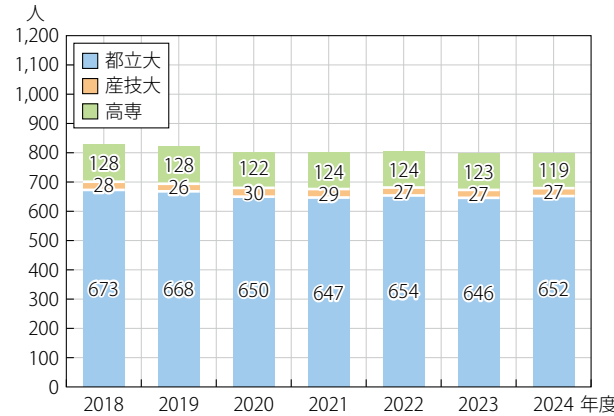
インターンシップ・就職活動に関する情報提供や各種ガイダンス、200社程度の企業の人事担当者から直接話を聞くことができる学内合同企業説明会、公務員試験対策、面接対策講座、OBOG交流会など年間約40の支援行事を開催しています。

また、国家資格を有するキャリアカウンセラーをはじめとする経験豊かな専門スタッフが、一人ひとりの進路・就職に関する相談にきめ細かく対応します。



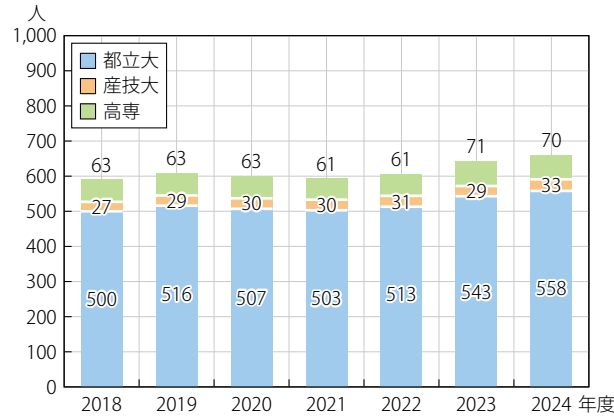
数字で見る都立大・産技大・高専

■教員数



※ 各年度 5 月 1 日現在

■職員数

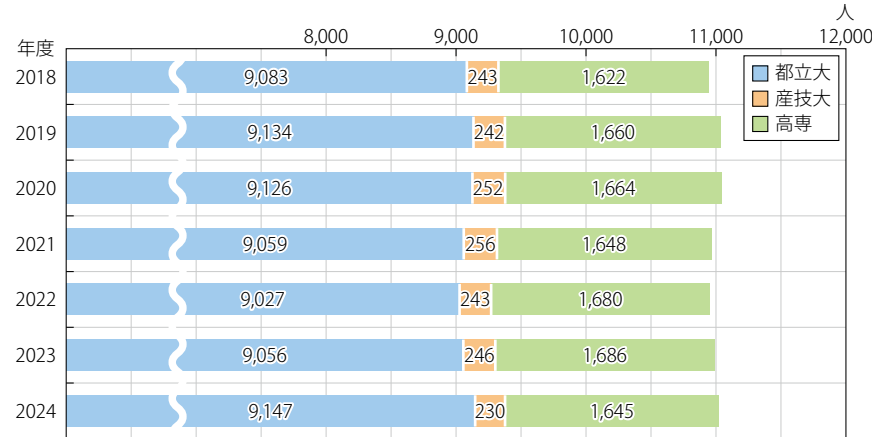


※ 都立大に法人部門を含む

※ 人材派遣を含む

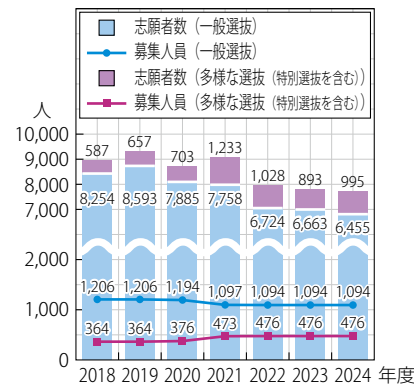
※ 各年度 5 月 1 日現在

■学生数



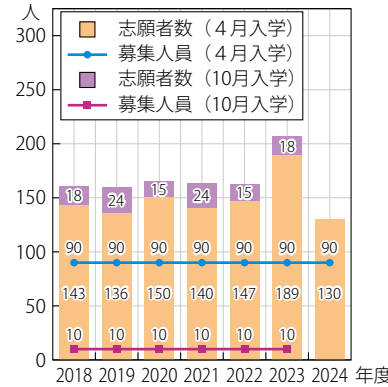
※ 各年度 5 月 1 日現在

■志願者数（都立大・学部）



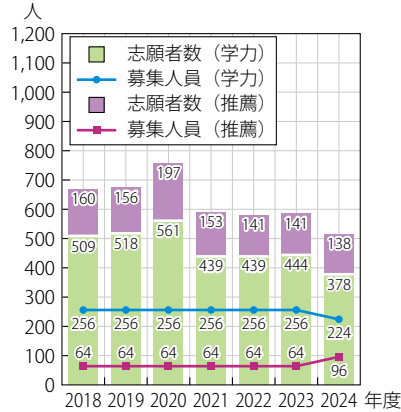
※2020年度以前は私費外国人留学生の数字を含まない

■志願者数（産技大）

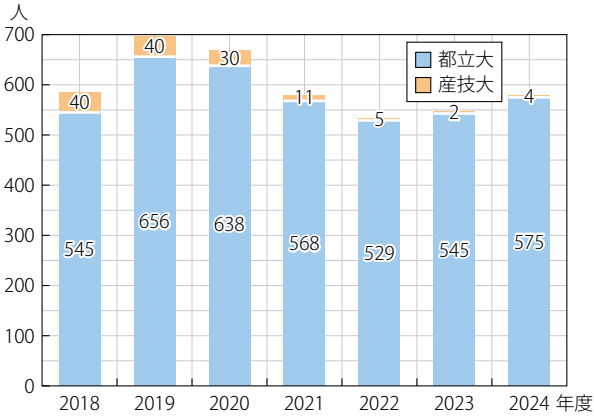


※2024年10月入学分は除く

■志願者数（高専・本科）

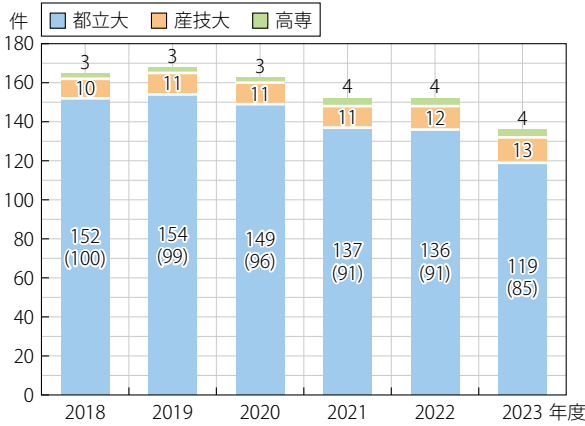


■留学生数



※各年度5月1日現在

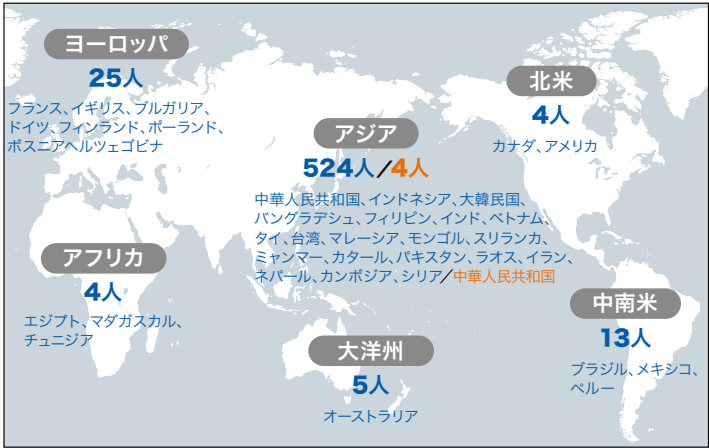
■国際交流協定件数（全学）



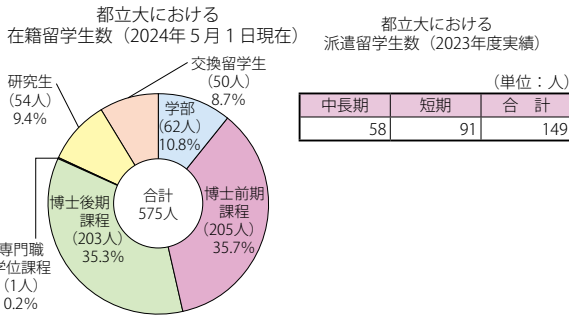
※各年度3月31日現在

※都立大の（ ）内は学校数

■2024年度地域別留学生数（計579人）



青：都立大 オレンジ：産技大 ※「留学ビザ」を所有している留学生数



■科学研究費助成事業 実績の推移（2018年度～2023年度）

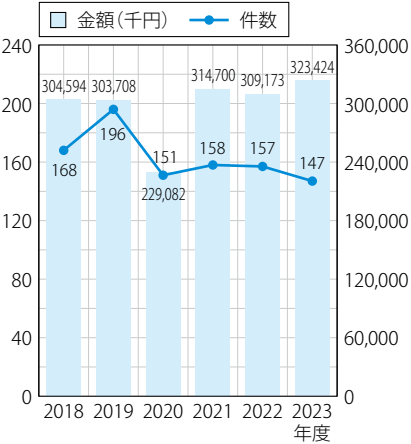
区 分		2018年度					2019年度					2020年度				
		応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 直接経費 間接経費	(千円)	応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 直接経費 間接経費	(千円)	応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 直接経費 間接経費	(千円)
都立大	新規	501	2,158,420	129	288,400	84,930	494	2,083,670	155	355,400	106,230	454	1,728,391	136	263,990	78,390
	継続	279	552,190	279	552,190	165,657	256	447,400	256	447,400	134,220	304	492,500	304	492,500	147,750
	合計	780	2,710,610	408	840,590	250,587	750	2,531,070	411	802,800	240,450	758	2,220,891	440	756,490	226,140
産技大	新規	11	28,290	3	3,100	930	14	43,518	2	2,100	630	15	45,542	4	4,500	1,350
	継続	9	13,858	9	13,858	4,157	8	8,750	8	8,750	2,625	8	8,800	8	8,800	2,640
	合計	20	42,148	12	16,958	5,087	22	52,268	10	10,850	3,255	23	54,342	12	13,300	3,990
高 専	新規	42	164,294	6	7,200	2,160	45	189,741	5	5,710	1,590	43	412,722	7	11,200	3,360
	継続	13	12,740	13	10,000	3,000	15	16,380	15	12,600	3,780	8	7,540	8	5,800	1,740
	合計	55	177,034	19	17,200	5,160	60	206,121	20	18,310	5,370	51	420,262	15	17,000	5,100

区 分		2021年度					2022年度					2023年度				
		応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 (千円)		応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 (千円)		応募 件数	応募金額 (千円)	内定 件数	内定金額 (千円)	
					直接経費	間接経費				直接経費	間接経費				直接経費	間接経費
都立大	新規	409	1,678,430	135	349,000	103,830	385	1,810,817	145	442,600	131,010	398	1,662,569	103	314,900	94,470
	継続	305	470,200	305	470,200	141,060	296	606,340	296	606,340	181,902	319	625,900	319	625,900	187,590
	合計	714	2,148,630	440	819,200	244,890	681	2,417,157	441	1,048,940	312,912	717	2,288,469	422	940,800	282,060
産技大	新規	21	390,300	3	3,200	960	16	160,359	2	6,000	1,800	20	157,346	0	0	0
	継続	8	10,200	8	10,200	3,060	9	6,400	9	6,400	1,920	5	7,100	5	7,100	2,130
	合計	29	400,500	11	13,400	4,020	25	166,759	11	12,400	3,720	25	164,446	5	7,100	2,130
高 専	新規	44	395,518	7	8,170	2,160	29	128,788	3	3,900	1,020	38	192,564	4	5,270	1,440
	継続	12	7,500	12	7,500	2,250	16	11,100	16	11,100	3,330	13	5,655	13	4,350	1,305
	合計	56	403,018	19	15,670	4,410	45	139,888	19	15,000	4,350	51	198,219	17	9,620	2,745

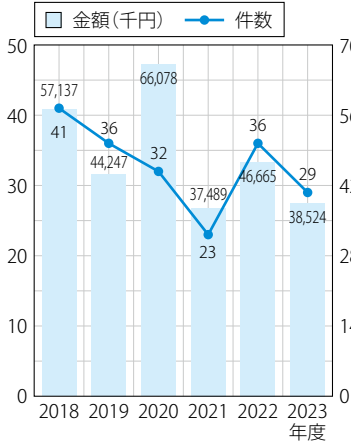
※都立大、産技大、高専は科学研究費助成事業に関する毎年度の応募件数・金額及び交付内定件数・金額を集計。ただし、特別研究員奨励費は除く。

■外部資金

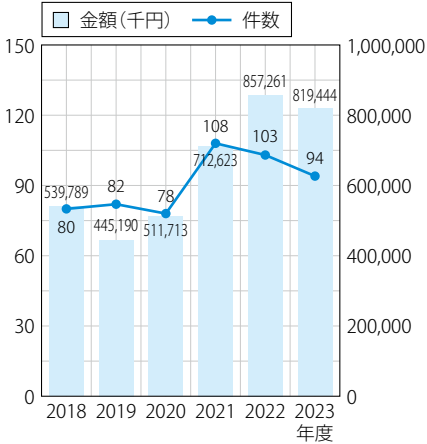
共同研究



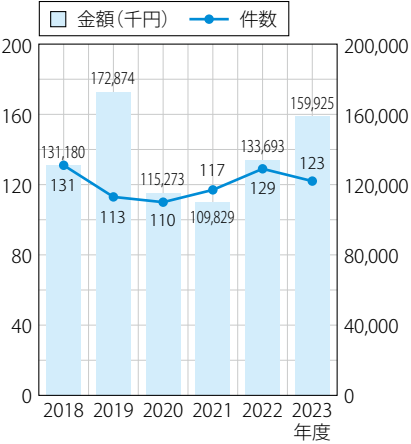
受託研究



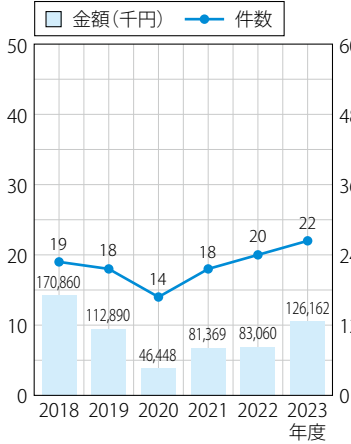
提案公募



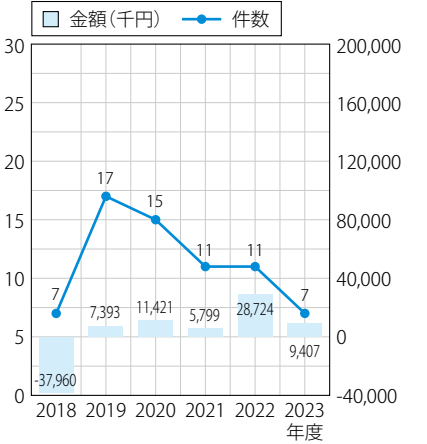
特定研究寄附金



都連携事業



受託事業（区市町村等）



※2012年度から学術相談の実績あり。2018年度：件数37件、金額27,684千円 2019年度：件数49件、金額34,477千円 2020年度：件数38件、金額24,781千円
2021年度：件数32件、金額33,063千円 2022年度：件数44件、金額39,848千円 2023年度：件数43件、金額42,708千円

※過年度のデータを含め、収支決算値を基に記載



東京都立大学

Tokyo Metropolitan University

研究力強化と教育への還元

本学の研究力を一層強化するために、2023年度から7つの戦略と21の項目からなる“研究力強化推進プロジェクト”を実施しています。この中で、研究環境の整備、研究時間の確保、若手研究者の育成などに加え、博士後期課程学生への支援、外部資金獲得を促進する各種支援、優れた研究者の確保等を強力に進めています。本学の特徴でもある、基礎から応用までの幅広い分野にわたる研究全体を対象とするもので、幸い比較的大型の科研費の獲得等でよい結果が出始めており、今後も力を入れていきます。さらに日野キャンパスの新棟（6号館）が2023年秋に供用を開始し、TMU Innovation Hubを中心とした産学公連携や大学発ベンチャーの支援、研究機器共用等が広がりつつあり、合わせて情報科学分野の充実にも取り組んでいきます。

優れた研究を教育へ還元させていくことも本学の大事な使命です。博士後期課程学生を支援するJSTの次世代研究者挑戦的研究プログラムへ採択され、学生たちがさまざまなキャリアで活躍できるようサポートしていきます。全学共通教育の改革、数理・データサイエンス副専攻コースの実施、学修成果の把握に基づく教育改善などを引き続き進めます。これにより、しっかりした基礎力に支えられ自ら考え挑戦する人を育て、学問と課外活動の両方に励む学生たちの活気にあふれるキャンパスを支えています。

研究と教育のグローバル化

明確な目標のもとに強力な国際化を推進することは、東京都が設置する総合大学としても重要な課題と考えています。本学は国際化行動計画を改定し、海外から優れた大学院生を受け入れる東京グローバルパートナー奨学金プログラム、英語で修了できる博士前期課程の複数分野における整備、ダブル・ディグリー制度の検討、国際副専攻の履修要件の拡大、留学生向けのSATOMU科目群の一層の整備等を進め、大学全体のさらなる国際化につなげていく検討も始めています。



東京都立大学
学長 大橋 隆哉

生涯学習の推進

東京都立大学プレミアム・カレッジは6年目となり、本科、専攻科、研究生コースと続く最長4年間の教育プログラムを進めます。体系的なシニアの学びと交流の場を提供する本カレッジは、意欲にあふれた多くの人々を惹きつけており、学び続けることが人生を豊かにすることを示しています。一方のオープンユニバーシティも、社会の関心を惹きつける講義群を展開するとともに、高校生向け講座などオンラインの利点を最大限に活用し、生涯学習を力強く推進していきます。

副学長紹介



津村 博文 副学長

（総務・入試・広報担当）兼アドミッション・センター長
職務分担：法人との連絡調整（財務・総務・教員人事制度等）に関すること、学内危機管理に関すること、入試・入試改革に関すること、高大連携に関すること、広報に関すること、博士人材支援に関すること、同窓会との連携に関すること、他の副学長の職務分担に属さないこと
任期：2025年4月1日～2027年3月31日
所属：理学部 数理科学科 教授
専門・研究分野：解析数論



西村 ユミ 副学長

（学生・ダイバーシティ担当）兼学生サポートセンター長
職務分担：学生支援（健康支援を含む）に関すること、キャリア支援に関すること、ダイバーシティに関すること
任期：2025年4月1日～2027年3月31日
所属：健康福祉学部 看護学科 教授
専門・研究分野：成人看護学



堀田 貴嗣 副学長

（研究・情報・都連携担当）兼総合研究推進機構長
職務分担：研究推進（外部資金を含む）に関すること、情報に関すること、都政との連携に関すること、産学公連携に関すること、博士人材支援に関すること、研究基盤整備に関すること、実験系研究室における安全管理に関すること
任期：2025年4月1日～2027年3月31日
所属：理学部 物理学科 教授
専門・研究分野：物性理論



谷口 央 副学長

（教育・評価担当）兼大学教育センター長
職務分担：学部・大学院教育に関すること、FD活動に関すること、自己点検・評価に関すること、教学IRIに関すること、博士人材支援に関すること
任期：2025年4月1日～2027年3月31日
所属：人文社会学部 人文学科 教授
専門・研究分野：日本近世史



野口 昌良 副学長

（国際化担当）兼国際センター長
職務分担：国際化に関すること、国際系新学部の開設準備に関すること
任期：2025年4月1日～2027年3月31日
所属：経済経営学部 経済経営学科 教授
専門・研究分野：会計学

トピックス

研究力強化推進プロジェクト始動

2023年6月、研究力強化に資する研究支援の実現を目指して「研究力強化推進プロジェクト」を始動しました。学長をトップに、研究担当副学長を中心として執行部で1年以上にわたり議論を重ね、7つの戦略の下、21の取組をまとめました。

教員がのびのびと特色ある研究を実施することで、教員の研究力が向上し、その優れた研究を社会に還元することができます。また、同様に優れた研究が教育にも還元されることで、教育と研究の好循環が生まれ、力のある人材の育成につながります。

今後、法人と大学、教員と職員がそれぞれに意見を出し合いつつ、協力して各取組を推進していきます。

研究力強化推進プロジェクトに関する学長メッセージや主な取組状況は、東京都立大学総合ホームページHotTopics—都立大を深く知る—で公開しています。

日野キャンパスに産学公連携スペース「TMU Innovation Hub」を開設

2023年10月に大学の持つ教育・研究リソースを活用した産学公連携イノベーション拠点として、TMU Innovation Hubを開設しました。産業振興への貢献を目的に、起業を目指す個人・団体及びスタートアップ企業等に対する支援や大学における研究成果の社会還元を促進する施策の実施、地域の企業との新たな連携を生み出すための取組を行っています。

TMU Innovation Hubでは、起業を目指す方や、起業後間もない研究開発型のベンチャー企業、本学教員との共同研究を行う企業等の入居を想定したインキュベーションルームやイベント開催等、新たなイノベーション創出の場となるオープンイノベーションスペース、地域の企業・団体など地域の方も利用することができるイノベーションブースを設置しています。また、工学系の高機能かつ汎用性の高い研究機器を備えた研究機器共用センターも配置しています。

2023年度にはTOKYO STARTUP GATEWAYファイナリストへのインタビュー、ビジネスプラン創出のワークショップ等によるアントレプレナーシップ講座や様々な業界の起業家による講演会を実施しました。



写真で見る都立大の取組

■プレミアム・カレッジ

様々な人生経験を積んだ50歳以上の方々に、新たな「学び」と「交流」の場を提供しています。

右の写真は、プレミアム・カレッジ生によるゼミ発表の様子です。



■日野キャンパス大学説明会

日野キャンパスでは、受験生や保護者の方などを対象として、キャンパス独自の大学説明会を開催しています。

大学説明会では、システムデザイン学部を構成する学科紹介、研究室公開及び個別相談会などを行っています。



■パラスポーツの理解促進と裾野拡大

パラスポーツ体験教室（年間30回程度）を開催し、パラスポーツの理解を深める機会を提供しています。右の写真は、ボッチャ体験教室の様子です。

また、デフリンピック2025東京大会に向けて、デフスポーツに関する動画を作成し、YouTube（都立大Channel及び2大学1高専Channel）で発信しています。



学部

人文社会学部

人間社会学科／人文学科

社会の人々が希望を持てる社会に向かう方法を探索し、研究し、実現することを目指し、人間の心理や教育、言語、文学、思想、歴史、そして社会や文化等の広い分野で教育研究を行います。

人間社会学科では現代社会が抱える様々な諸問題に向き合うことができる学生を育成します。人文学科では、自分自身および自らの文化と社会とをより客観的に把握し、大局的判断を下せる学生を育成します。

法学部

法学科

法学・政治学の各分野で学界をリードし、現代社会の様々な問題に適切に対応する最先端の研究を行います。社会で生起する法律学・政治学の諸問題を解決する能力を修得させる教育を行い、法曹をはじめ、法的思考（legal mind）と良き社会人としての特性（civility）を備え、現代社会に山積する諸問題に果敢に挑む有益な人材を育成します。

経済経営学部

経済経営学科

経済学と経営学の体系的なカリキュラムの提供を通じ、専門性の高い先進教育を展開します。社会・経済の様々な問題を解決するための能力を培うことで、政策や将来像を立案し、国・自治体、民間企業に適切な指針を与えるリーダーとして活躍する人材を養成します。

経済学コースと経営学コースの2つのコースで構成されます。

理学部

数理科学科／物理学科／化学科／生命科学科

自然科学に対する深い理解と知識を得ることを目指し、そのために必要となる手法や論理的考え方を的確に身につける教育を行います。これによって、広い視野と様々な問題に対する解決能力を培っていきます。確かな理学の基礎力をもとに、社会における課題や新たな状況へ適切に対応できる能力を備えた人材を養成することを目的とします。

都市環境学部

地理環境学科／都市基盤環境学科／建築学科／環境応用化学科／観光科学科／都市政策科学科

都市環境学部では、都市環境を構成する自然、人間、社会、物質、エネルギー、情報、構造物・人工物、公共政策などをキーワードに、進展する都市機能と環境問題の関連性、大都市におけるエネルギーの高度利用・安定供給、インフラの老朽化と更新、大規模な災害への対応、都市・地域経済の活性化、少子高齢化への対応、多様な人々との共存、行財政運営のあり方など様々な課題を掘り下げて学び、研究します。大都市における人間社会の理想像についての学際的アプローチ、副専攻の導入、学部の提供する専門科目の履修や大学院進学への奨励、実験・実習・フィールドワークや課題解決・提案型演習の重視と多彩なインターンシップなどを通して実践的かつ多角的な判断能力や構想・提案力を養っていきます。

システムデザイン学部

情報科学科／電気電子工学科／機械システム工学科／航空宇宙システム工学科／インダストリアルアート学科

「ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築」を追究し、旧来の工学と異なり、関連諸分野を横断的に複合・融合化し、システムとデザインという新機軸で芸術的要素をも包含した教育研究を行います。

大都市東京の発展を支える新産業創成に貢献できる応用性・創造性豊かな人材を育成します。

健康福祉学部

看護学科／理学療法学科／作業療法学科／放射線学科

すべての人が主体的に保健医療・福祉を利用しつつ生活機能を増進して幸福な日々を享受することができる、「活力ある長寿社会」の構築に貢献することを理念に教育研究を進めています。

この理念に基づき、高い見識と実践能力を持つとともに豊かな人間性を備え保健医療の向上及び健康・福祉の増進に寄与できる、保健医療職人材及び専門分野における将来の指導者を育成しています。

専攻科

助産学専攻科

助産師の資格取得のための1年間の助産学教育課程です。看護師資格を持つ女性を対象としています。

大学院

人文科学研究科

社会行動学専攻／人間科学専攻／文化基礎論専攻／文化関係論専攻

世界水準の人文科学の基礎的研究を土台に据えつつ、文化、社会、伝統、異文化理解の観点から学際的研究に取り組み、グローバルな現代社会の課題に挑みます。

都市問題や社会福祉といった実証的・政策的研究から社会理論や哲学・思想史の原理的な研究、また、東西の歴史研究や文学・文化理論から心理学や脳・言語科学といった文理融合の一翼を担う研究、さらに文字情報と映像文化の統合という現代情報社会の先端的探求など、幅広い分野における専門研究者や高度職業人の養成に取り組みます。

法学政治学研究科

法学政治学専攻／法曹養成専攻（法科大学院）

法学及び政治学に関する基礎理論、及び先端的な理論を研究し、その成果を教育内容とするとともに、法曹養成のための教育を行う専門職大学院を設置する研究科です。法学政治学専攻では、専門的な研究や大学教育に従事する研究者の養成や、高度な専門的知識を有する職業人・公務員を志す人材を育成します。法曹養成専攻においては、東京をはじめとする大都市の抱える複雑な問題に対して、それを解決する能力を有する法曹を養成します。

両専攻とも少人数教育により、一人一人を徹底的に鍛える教育を行っています。

経営学研究科

経営学専攻

首都東京の潜在力を現実の活力に転換するためには、第一線の研究者と高度な能力を有する経営管理者等の養成が欠かせません。また、専門的知識を用いた経済分析や金融リスク管理等も求められています。経営学研究科では、これらの社会的要請に応えるための高度な研究水準を維持し、その成果を学術的・実践的な教育に反映させていきます。

主に、丸の内サテライトキャンパスで、博士前期課程の3つのプログラム（「経営学プログラム」「経済学プログラム」「ファイナンスプログラム」）と博士後期課程を開講しています。

理学研究科

数理科学専攻／物理学専攻／化学専攻／生命科学専攻

理学研究科は、体系的・総合的な基礎知識の上に立ち、自然科学に関する様々な問題を発見し解決できる力を高めるための、特色ある教育プログラムを実践しています。特に、分野を超え、応用にもつながるような教育を積極的に提供し、それを通じて広い視野をもつ独創的な研究者や高度な専門家を育成することを目指しています。連携大学院の制度を活用して、国内の他の研究機関の研究者とも連携しながら、大学院の教育と最先端の研究に取り組んでいます。

都市環境科学研究科

地理環境学域／都市基盤環境学域／建築学域／環境応用化学域／観光科学域／都市政策科学域

都市環境を構成する「人間」・「物質」・「エネルギー」・「情報」・「人工物」・「自然」の各要素について、観測と解析を基礎にその相互作用を明らかにします。新たに公共政策の分野を加え、任意の空間・時間における各要素の変動予測・設計・制御が可能となる方法論の開発と社会環境を制御する政策・制度の分析により、持続・発展する都市を構築する科学体系としての都市環境科学の確立を目指します。

都市環境の構成要素に関わる専門的な研究領域とそれらが融合した新しい領域を対象に、先進的な研究を推進し、課題の発見・解決によりメガシティの将来を先導する人材の育成を行っています。

システムデザイン研究科

情報科学域／電子情報システム工学域／機械システム工学域／航空宇宙システム工学域／インダストリアルアート学域

大規模なシステムが有する多様な問題を解決する目的で、システム要素に関する領域を科学的・横断的に俯瞰し、数理的・論理的手法を主たる基盤として、人間的要素も視野に入れたシステムデザイン学を追求することを基本理念とします。急激に変革しつつある産業構造や多様な社会ニーズに対応して、個々の要素技術のみでなくそれらを総合的にシステムとして捉え得るエンジニアリング・マインドと、グローバルな視点での思考法や国際コミュニケーション力を持つ研究者・技術者を養成します。

人間健康科学研究科

看護科学域／理学療法科学域／作業療法科学域／放射線科学域／フロンティアヘルスサイエンス学域／ヘルスプロモーションサイエンス学域

大都市で生活する人々の「健康」に関わる研究・教育を多角的に推進しています。特に本学の最重要課題の一つである「活力ある長寿社会の実現」に向け、「あらゆる世代・地域の人々が、自分の能力を発揮し活躍できる優しい社会」を目指した研究・教育が行われています。各分野の学問体系を確立・深化させることはもちろん、異なる分野間の学問交流を通じて有機的・融合的な研究・教育が機動的・弾力的に行われています。さらに、世界中の「健康増進」に向けた様々な先進的な活動を行っています。これらの活動を通じて、高い理想をもった高度実践専門家及び先導的研究者を育成します。

大学教育センター

大学教育センターは、学部・研究科及び関係委員会との連携のもと、入学者選抜、大学教育及び教育改善等について、全学的な視点から調査・研究及び企画・調整を行うとともに、それらの円滑な実施を図り、本学における教育改革を推進することを目的としています。

入試部門、全学共通教育部門、FD^{*1}・教学IR^{*2}部門、教職課程部門、外国語教育部門及び情報教育部門という6つの部門があり、情報教育や英語教育及び教職課程の調整・実施に当たる教員や、キャリア教育、高等教育、教学IR、高大連携を専門とする教員を配置しています。入試委員会の各部会、教務委員会及び同基礎教育部会、FD委員会、教学IR委員会、自己点検・評価委員会、教職課程委員会といった関係委員会の活動と連携しながら、入学者選抜の適切な実施と改善に向けた調査分析、全学の基礎・教養教育の円滑な実施、それらの改善に向けたFD活動などに取り組んでいます。

*1 FD（ファカルティ・ディベロップメント）

授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施する取組。東京都立大学では、教育機関としての機能の充実と、教育活動のさらなる改善を図るため、全学で積極的に取り組んでいます。

*2 教学IR（インスティテューショナル・リサーチ）

大学の計画策定、意思決定等を支援するための情報を提供する目的で、教育・学修に関するデータを対象として調査・分析を行っています。

国際センター

国際交流部門

(1) 国際交流協定の締結

教育研究交流や学生交流を目的として、外国の大学又は研究機関と協定を締結しています。

国際交流協定締結数※1（単位：件、校）

区 分	全学協定	部局間協定	合 計
締結数	119	111	230
学校数※2	85	95	180

※1 2024年3月31日現在

※2 学校数の合計は重複（8校）を含む

留学生・留学支援部門

(1) 留学生支援

外国人留学生に対しては、日本語授業の開講や日本語によるレポート・論文作成力向上のための個別指導などによる学習支援、奨学金の募集案内や宿舍の斡旋、日本の生活・文化の紹介、専門相談員の設置などによる生活支援を行っています。また、留学生と日本人学生、留学生同士の交流を深めるイベント等を実施しています。

2008年度からは、東京都アジア人材育成基金を活用し、アジアの優秀な留学生を大学院博士後期課程に受け入れていましたが、2015年度からは、都の友好都市等に対象を広げた東京都都市外交人材育成基金において、大学院博士前期課程及び博士後期課程に留学生を受け入れてい

(2) 国際交流会館の運営

南大沢キャンパスにある国際交流会館には、セミナー室、会議室、研究室、海外からの研究者と本学の大学院に在籍する留学生のための宿泊室などがあります。学術交流に関する事業等や外国人研究者および外国人留学生の宿泊に利用されるほか、各種の国際会議などにも活用されるなど、教育・研究の国際交流拠点となっています。

(2) 留学支援

海外への留学を希望する学生には、学生交換協定校への交換留学や長期休暇を活用した海外短期研修などの機会を提供しています。また、留学予定者に対する事前研修や事後研修の実施、留学中における危機管理サポートなどを行っています。さらに、学生の留学意欲を高めるために、留学に必要な語学力を身につけるための英語講座などを開講しています。

生涯学習推進センター

オープンユニバーシティ

東京都立大学は、都民や社会人等の学習ニーズに応える生涯学習の拠点として、さらには地域社会の活性化を目指して、大学の持つ学術研究の成果を広く社会に還元する「オープンユニバーシティ」を開設しています。

(1) 特色

- ・東京都立大学における最新の教育・研究成果を分かりやすく解説します。
- ・東京都・特別区との連携の下、江戸・東京をはじめ、文化・芸術、社会などの魅力ある講座を提供していきます。
- ・受講生のニーズを満たす11の分野を設定し、学習意欲・知的好奇心に応えた講座を展開していきます。

(2) 講座の提供

- ・有料で実施する一般講座
- ・東京都立大学の教員の専門的・ユニークな研究成果を提供する有料講座
- ・高校生向け特別講座
- ・時事的課題などを取り上げた特別講座（無料）
- ・東京都や（公財）特別区協議会をはじめ自治体・団体等と連携した講座

プレミアム・カレッジ

様々な経験を積んだ50歳以上の方々に向けて、新しい学びのスタイルを提案します。総合大学である東京都立大学が有する豊かな教育研究資源や東京都との緊密な連携により、ほかでは体験できない学びと交流の場を提供しています。

(1) 東京都立大学プレミアム・カレッジの特徴

- ・緑豊かで開放的な南大沢キャンパスでの学び
- ・「首都・東京をフィールドに学ぶ」をテーマとした、幅広い独自のカリキュラム
- ・全員がゼミナールに参加し、新たな仲間と学びや交流を深める
- ・東京の持つあらゆる資源を活用したフィールドワーク
- ・学びを通じた都立大生等との異世代交流
- ・快適で充実した学習環境
- ・修了生には、法に基づく「履修証明（certificate）」を授与
- ・更なる学びの意欲に応える2年目以降のプログラム「専攻科（2年目）」「研究生コース（3～4年目）」

(2) 2024年度選考状況

（単位：人）			
学科・コース	募集人員	志願者数	合格者数
本科	55（程度）	185	56
専攻科	30（程度）	42	33
研究生コース	15（程度）	15	15

(3) 会員制・その他

オープンユニバーシティは会員制です（入会金3千円）。会員の方には、会員証を発行し、パンフレットの送付、図書館の利用、生協加入等の特典が付きます。また、講座毎に独自の単位があり、取得した単位の合計数が基準に達するとOUマイスター称号が授与されます。

(4) 講座実施場所

飯田橋キャンパス（東京区政会館3階）を中心に、東京都立大学の南大沢キャンパスなどで開講。また、オンライン講座も開講しています。

(5) 講座数の推移（実績）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
351	40	234	301	330

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン講座の実績（対面式講座はすべて中止）

総合研究推進機構

研究戦略の立案を行う研究戦略企画室と、基礎研究から産学連携・技術移転まで、大学の研究推進をトータルで行う研究推進課から構成される「総合研究推進機構」を設置し、学内の研究活動の更なる活性化と国内外での研究大学としてのプレゼンス向上を図っています。

研究戦略企画室

東京都立大学における学内資源を有効に活用し、研究プレゼンスを高め、「世界の頂点」となり得る研究分野の構築を目指すために、学術研究戦略・都連携研究戦略・産学連携研究戦略の企画立案、研究推進支援に関する業務を行っています。2021年4月から、堀田貴嗣副学長が総合研究推進機構長兼研究戦略企画室長として、トップダウンで研究戦略立案を行い、学内外の様々な環境変化に迅速に対応することを目指しています。

研究機器共用センター

本学における基本的な研究施設・設備の共用化、維持管理の一元化を図るため、研究機器共用センターを設置しています。研究施設・設備の戦略的な運用体制を構築するとともに、先端研究環境の整備を図り、国内外に研究機関としての魅力発信を可能とすることで、共同研究を含む研究の推進につなげることを目指しています。

産学公連携室

本学の高い研究力から創出される成果や様々な教育リソースを活用した産学公連携を一層推進するため、産学公連携室を設置しました。産学公連携室は、連携推進に向けた方針及び施策の検討のほか、外部機関との連携促進、大学発ベンチャー等の創出及び育成に関する業務等を行っています。2023年10月には日野キャンパスに産学公連携スペース「TMU Innovation Hub」を開設し、起業を目指す方や地域の企業との交流・連携を活性化し、多摩地域の振興に貢献することを目指しています。

URA

URAは、University Research Administratorの略称であり、大学や研究機関にて研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等のマネジメント等により研究活動を推進する専門人材と文部科学省では定義しています。URAは、研究IR、研究資金の獲得、企業や外部機関との連携の提案、契約交渉、研究プロジェクトのマネジメント、研究成果の広報、社会貢献（実用化・事業化）に至るまで、大学の研究活動をトータルに推進しています。

研究センター

「世界の頂点」となり得る研究分野の構築

研究センター及びリサーチコアの設置

本学の個々の研究水準は非常に高く、それぞれの分野で高い評価を受けています。これらの研究資源を有機的に結びつけ、「世界の頂点」となり得る研究分野の構築を目指すのが研究センター及びリサーチコアです。本学の使命である「大都市における人間社会の理想像の追求」に関する研究、部局に存在する研究、及び部局を超えた学際的な研究の中から、卓越した研究実績があり、国際的研究拠点につながるものを研究センターとして設置しています。また、優れた研究実績があり、研究拠点化につながるもの、本学の使命である「大都市における人間社会の理想像の追求」に関する研究領域をもつもので、大都市に関する研究拠点形成を図るものをリサーチコアとして設置しています。

現在設置されている研究センター及びリサーチコア（2024年4月1日現在）

研究センター	研究代表者	センターの概要
宇宙理学研究センター Research Center for Space Science	田沼 肇 教授 理学研究科 物理学専攻	本学は、宇宙に関連した研究を進めているグループを多く有しており、専攻を超えて連携を深め、研究能力を大きく伸ばすことができます。こうした宇宙物理学の研究へ向けた力を結集し、一段と高い研究成果を生み出すことを目的としている。
生命情報研究センター Research Center for Genomics and Bioinformatics	田村 浩一郎 教授 理学研究科 生命科学専攻	関連分野の研究者間に有機的な協力体制を具体化し、ゲノム科学をはじめとした生命情報学的技術を要する研究分野において国際競争力を持つ研究・教育拠点としていく。
水道システム研究センター Research Center for Water System Engineering	小泉 明 特任教授 都市環境科学研究科 都市基盤環境学域	水道施設を健全な状態に維持し、将来も高水準な水供給を持続可能とする水道システムに関する研究を、産官学共同の体制による幅広い視点から推進し、次世代型水道システムの未来像を描き出していく。
ソーシャルビッグデータ 研究センター Research Center for Social Big Data	石川 博 特任教授 システムデザイン研究科 情報科学域	ソーシャルデータを媒介として、実世界データから新しい価値・知見を発見し、利活用するための統合基盤を構築する。特にこれまで十分に研究されてこなかった疑似相関を記述するための汎用的な理論とモデル化の仕組みについて研究を行っている。
子ども・若者貧困研究センター Research Center for Child and Adolescent Poverty	阿部 彩 教授 人文科学研究科 社会行動学専攻	日本における子ども・若者の貧困研究を学術的かつ体系的に取り組む研究拠点として、貧困の子どもが抱える諸問題の全容、また、いかにして貧困の影響を最小限にし、「貧困の連鎖」を食い止めるかの具体的政策、貧困に関する問題意識をどのように世論や行政に反映していくか等について、研究を行っている。また、自治体に対して子ども・若者の貧困に関する研究成果のフィードバックを行う。
金融工学研究センター Research Center for Quantitative Finance	内山 朋規 教授 経営学研究科 経営学専攻	東京都の施策「国際金融都市・東京」の実現に向けて、学術的な最先端研究拠点を形成し、金融工学の学術的な研究の発展と国際的交流を図る。
水素エネルギー社会構築推進研究センター Research Center for Hydrogen Energy-based society	穴戸 哲也 教授 都市環境科学研究科 環境応用化学域	水素によるエネルギー高効率利用システムの開発から水素サプライチェーン（水素製造と供給システム）の開発、水素エネルギーの高効率利用を可能とするインフラの整備まで幅広く焦点を当てた研究センターは世界的に例がなく、本学から世界にアピールできる研究拠点として発展を目指していく。
医工連携研究センター Research Center for Medicine-Engineering Collaboration	藤江 裕道 教授 システムデザイン研究科 機械システム工学域	本学に優位性があるナノ・マイクロ加工や材料生成などの基礎医療領域から、外部医療機関とのネットワークを活かして実施する臨床医療領域までを一気通貫でカバーできる特長がある。国内外の優れた研究者による研究拠点としてのポテンシャルや、東京都における医工連携研究の中心的存在として発展性が見込める。
量子物質理工学研究センター Research Center for Quantum Material Science and Engineering	柳 和宏 教授 理学研究科 物理学専攻	分子性導体、遷移金属化合物、希土類化合物、アクチノイド化合物などの超伝導に関して研究成果をあげ、当該研究分野の発展に貢献することができる。また、都立大発の新規BiS ₂ 系層状超伝導体の研究を本センターが強力に推進し、超伝導研究の拠点としての東京都立大学を強くアピールしていきたい。
エネルギーインテグリティシステム研究センター Research Center for Energy Integrity Systems	和田 圭二 教授 システムデザイン研究科 電子情報システム工学域	電気エネルギーと通信ネットワークの融合システムにおいて 電磁環境技術を共通軸の視点を踏まえてシステムのロバスト化を目指すという、これまでにない新たな研究展開を目指している。
島嶼火山・都市災害研究センター Research Center for Hazard Mitigation in Volcanic Islands and Urban Areas	鈴木 毅彦 教授 都市環境科学研究科 地理環境学域	火山災害だけではなく、広く自然災害を含め、地域社会に役立つ大学機関、とくに地域的な役割をになう公立大学の研究センターとしてのモデルケースになり、新たに認識されるリスクに関する最新情報を迅速に地域社会（住民や地方自治体）に還元していく。
コミュニティセントリック・システム研究センター Research Center for Community-centric Systems	久保田 直行 教授 システムデザイン研究科 機械システム工学域	本学が国際的に強みをもつ情報学ソーシャルロボティクス分野と、強化中のビッグデータ分野を両輪として、都の重要課題である防災コミュニティ形成や、健康福祉の諸課題を実データによって解決することを目指している。
サービスロボットインキュベーションハブリサーチコア Research Core for serBot in Q	武居 直行 教授 システムデザイン研究科 機械システム工学域	大都市に関する課題を解決するための研究開発や実用化を目指し、モジュール化によるサービスロボットの技術的要素研究と、デザイン思考を用いたサービスロボットの社会実装研究を強化したインキュベーションセンターとなる拠点を設置することを目的とする。
言語の脳遺伝学リサーチコア Research Core for Language, Brain and Genetics	本間 猛 教授 人文科学研究科 人間科学専攻	人文科学と生命科学を融合して「言語・脳・遺伝子」を統合的に扱う世界初となる研究拠点である。言語と人間性の解明のために、研究科を超えて言語の脳遺伝学研究へ向けた力を結集し、より高い研究成果を生み出すことを目指している。
メタ・ヘルスケアリサーチコア Research Core for meta-healthcare	金子 文成 教授 人間健康科学研究科 理学療法科学域	保健学、ヒト神経科学、工学、実験心理学などの異分野研究技術を集学的に統合し、ヘルスケアに資する先端研究に取り組む拠点である。空間を超えて健康寿命延伸のための課題を解決するため、特に多感覚統合による仮想的体験で身体機能を拡張する技術を用いて、技術開発・エコシステム構築・高次の臨床実践を目指している。

学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、図書・学術情報部門、情報メディア教育支援部門及び情報基盤技術部門からなり、教育研究に必要な学術情報とその基盤を総合的に提供しています。

図書・学術情報部門

大学の学術情報基盤として、南大沢・日野・荒川の各キャンパスに図書館を設置し、紙・電子媒体を問わず様々な資料の提供やレファレンスサービス等を行っています。

図書館内のラーニング・コモンズでは、パソコン環境やグループ学習環境を提供するなど、多様な学習スタイルに対応しています。

また、学内の学術研究成果を広く社会に発信するための機関リポジトリを整備し、運用管理を行っています。

〔蔵書数（製本雑誌を含む）〕（単位：冊）

区分	和書	洋書	合計
本 館	546,347	174,064	720,411
日野館	125,865	38,120	163,985
荒川館	128,018	18,254	146,272
人文社会学部	362,197	265,948	628,145
法学部	137,744	84,920	222,664
経済経営学部	65,788	65,175	130,963
理学部	21,574	65,126	86,700
都市環境学部	25,340	10,348	35,688
システムデザイン学部	7,993	2,014	10,007
健康福祉学部	6,816	516	7,332
法科大学院	48,966	2,569	51,535
ビジネススクール	3,153	800	3,953
その他	10,730	2,529	13,259
合 計	1,490,531	730,383	2,220,914

※2024年3月31日現在

情報メディア教育支援部門

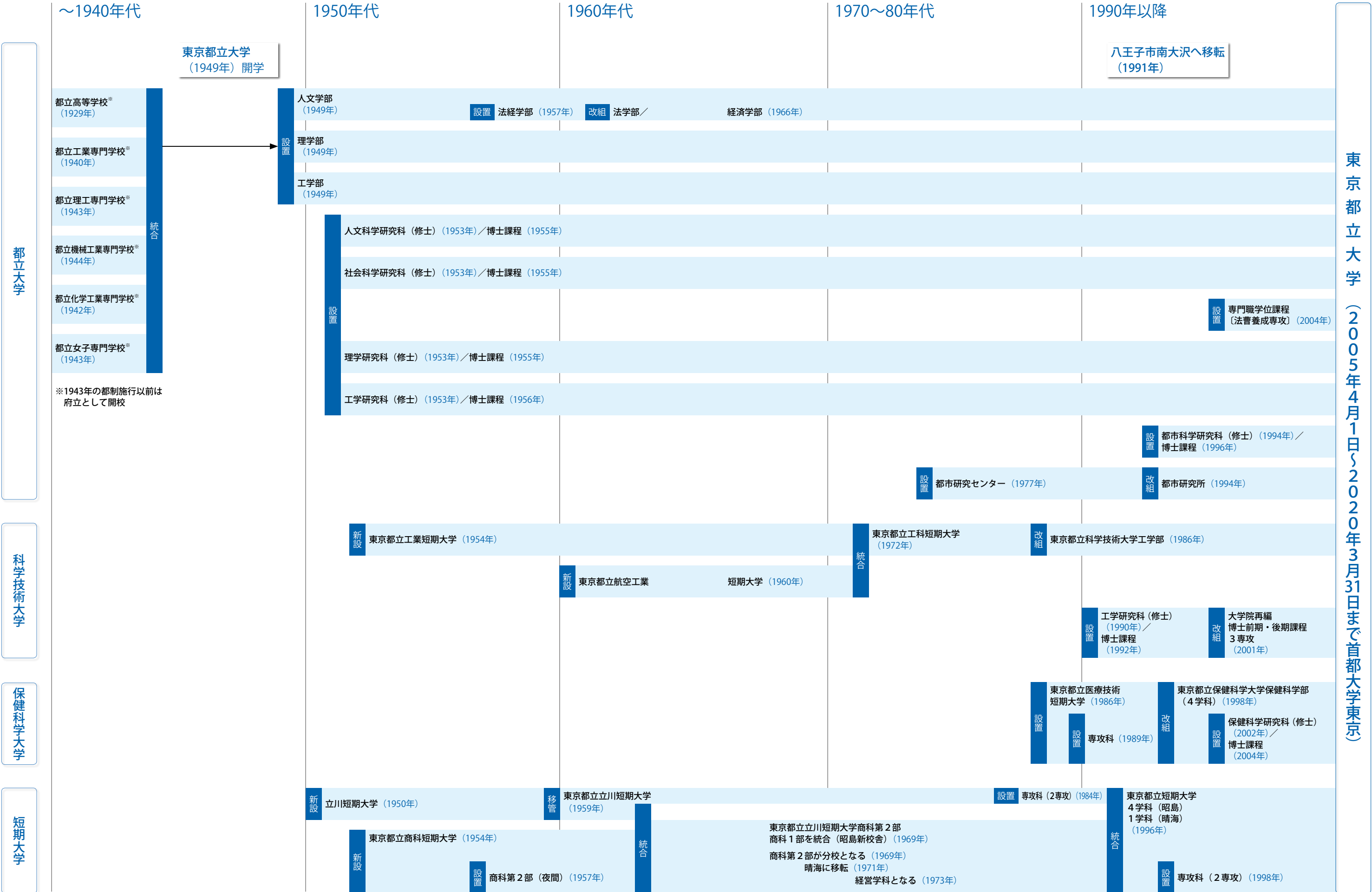
授業や学生の自習に使える情報処理教室や、グループワークやディスカッションの場となるTALL（TMU Active Learning Lab.）教室、キャンパス間でのアクティブな授業を可能とする遠隔講義録画システムの運営を行っています。

情報処理教室では常駐の相談員（チューター）を配置し、学生のパソコン利用を支援しています。また、大学の正規授業や公開講座などをインターネット上で無償公開するOCW（オープンコースウェア）や、ノートパソコンの貸出など、本学の情報教育の環境整備に取り組むとともに、学生の主体的な学びを促進するためにeラーニングシステム（kibaco）を導入し、その運用管理も行っています。学内に相談窓口を設置し、教員・学生のシステム利用をサポートすることにより、学生の能動的、自主的な学修を支援しています。

情報基盤技術部門

学生・教員向けのメールシステムを始めとする教育研究用情報システム、学内ネットワークや無線LANなど、教育研究に必要なICT環境の整備運用を行っています。また、情報セキュリティ対策や、学外のデータセンタを活用することによる可用性の向上とコストの削減を図るなど、学内の情報システムの最適化や効率化に取り組んでいます。





※2005年以降の沿革はP 4 に掲載

学生の状況

(2024年5月1日現在)

■現員及び定員

(1) 現員総数 (単位：人)

学部	専攻科	大学院	合 計
6,876 (2,890)	10 (10)	2,261 (703)	9,147 (3,603)

※ () 内は女性で内数

(2) 内訳

●学部
〈2018年度以降（再編後）の組織の在籍者〉

(単位：人)

学 部		定 員			現 員				
		入学	編入学	収容	1年 総数	2年 総数	3年 総数	4年 総数	合 計 総数
人文社会 学部	人間社会学科	110	—	440	119 (80)	127 (76)	122 (76)	137 (86)	505 (318)
	人文学科	90	—	360	100 (58)	100 (60)	94 (55)	115 (67)	409 (240)
	小 計	200	0	800	219 (138)	227 (136)	216 (131)	252 (153)	914 (558)
法学部	法学科	200	—	800	208 (105)	156 (84)	168 (78)	123 (52)	900 (410)
	法学コース	—	—	—	—	72 (32)	68 (20)	105 (39)	—
	小 計	200	0	800	208 (105)	228 (116)	236 (98)	228 (91)	900 (410)
経済経営 学部	経済経営学科	200	—	800	211 (79)	36 (11)	43 (12)	36 (8)	857 (334)
	経済学コース	—	—	—	—	195 (79)	155 (67)	181 (78)	—
	小 計	200	0	800	211 (79)	231 (90)	198 (79)	217 (86)	857 (334)
理学部	数理科学科	45	—	180	50 (3)	50 (6)	44 (5)	49 (11)	193 (25)
	物理学科	47	—	188	52 (9)	49 (7)	44 (1)	53 (2)	198 (19)
	化学科	48	—	192	52 (18)	47 (14)	51 (17)	51 (17)	201 (66)
	生命科学科	60	—	240	62 (32)	63 (43)	62 (37)	67 (29)	254 (141)
	小 計	200	0	800	216 (62)	209 (70)	201 (60)	220 (59)	846 (251)
都市環境 学部	地理環境学科	30	—	120	31 (13)	31 (11)	31 (11)	37 (11)	130 (46)
	都市基盤環境学科	50	—	200	51 (11)	53 (12)	57 (16)	59 (13)	220 (52)
	建築学科	50	—	200	53 (22)	53 (20)	54 (21)	65 (26)	225 (89)
	環境応用化学科	60	—	240	64 (18)	63 (27)	63 (21)	72 (25)	262 (91)
	観光科学科	30	—	120	33 (8)	35 (21)	36 (12)	30 (12)	134 (53)
	都市政策科学科	35	—	140	34 (11)	36 (19)	37 (11)	43 (13)	150 (54)
システム デザイン 学部	情報科学科	255	0	1,020	266 (83)	271 (110)	278 (92)	306 (100)	1,121 (385)
	電子情報システム工学科	50	—	200	50 (13)	61 (8)	58 (9)	55 (8)	224 (38)
	情報システムコース	85	4	348	84 (10)	100 (19)	51 (5)	47 (4)	372 (44)
	電気通信システムコース	—	—	—	—	—	44 (2)	46 (4)	—
	機械システム工学科	90	4	368	89 (9)	107 (9)	47 (6)	47 (6)	392 (40)
	知能機械コース	—	—	—	—	—	47 (4)	55 (6)	—
健康福祉 学部	航空宇宙システム工学科	45	—	180	47 (3)	49 (6)	51 (5)	52 (9)	199 (23)
	インダストリアルアート学科	50	—	200	52 (26)	56 (31)	59 (37)	59 (39)	226 (133)
	小 計	320	8	1,296	322 (61)	373 (73)	357 (68)	361 (76)	1,413 (278)
	看護学科	80	—	320	81 (80)	89 (83)	82 (78)	80 (80)	332 (321)
	理学療法学科	35	—	140	38 (24)	36 (23)	40 (22)	27 (16)	141 (85)
	作業療法学科	40	—	160	41 (34)	44 (39)	41 (37)	46 (40)	172 (150)
健康福祉 学部	放射線学科	40	—	160	42 (27)	40 (29)	42 (26)	46 (31)	170 (113)
	小 計	195	0	780	202 (165)	209 (174)	205 (163)	199 (167)	815 (669)
	合 計	1,570	8	6,296	1,644 (693)	1,748 (769)	1,691 (691)	1,783 (732)	6,866 (2,885)

(2024年5月1日現在)

●学部
〈2017年度以前（再編前）の組織の在籍者〉

(単位：人)

学 部			定 員			現 員				
			入学	編入学	収容	1年 総数	2年 総数	3年 総数	4年 総数	合 計 総数
都市教養 学部	人文・ 社会系	社会学コース	200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)
		心理学・教育学コース	—	—	—	—	—	—	1 (0)	—
		国際文化コース	—	—	—	—	—	—	0 (0)	—
		小 計	200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)
	法学系	法律学コース	200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)
		政治学コース	200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)
		小 計	200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)
	経営学系	経営学コース	240	—	960	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)
		経済学コース	240	—	960	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		小 計	240	—	960	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)
	理工学系	数理科学コース	40	—	160	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		物理学コース	45	—	180	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		化学コース	45	—	180	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		生命科学コース	50	—	200	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		電気電子工学コース	40	4	168	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
		機械工学コース	40	4	168	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		小 計	260	8	1,056	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
都市環境 学部	都市政策コース (2年次進級時でのコース選択)		(1学年15名程度)			—	(—)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小 計		900	8	3,616	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (4)	7 (4)
	地理環境コース		30	—	120	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	都市基盤環境コース		50	—	200	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	建築都市コース		60	—	240	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	分子応用化学コース		60	—	240	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
システム デザイン 学部	自然・文化ソーリズムコース (3年次進級時でのコース選択)		—	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小 計		200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	知能機械システムコース		60	—	240	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	情報通信システムコース		50	—	200	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	航空宇宙システム工学コース		50	—	200	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	経営システムデザインコース		50	—	200	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
健康福祉 学部	インダストリアルアートコース		60	—	240	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小 計		270	—	1,080	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	看護学科		80	—	320	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	理学療法学科		40	—	160	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	作業療法学科		40	—	160	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	放射線学科		40	—	160	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
健康福祉 学部	小 計		200	—	800	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	合 計		1,570	8	6,296	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (5)	10 (5)

(2024年5月1日現在)

●専攻科 (単位：人)

専 攻 科	定員		現員
	入学	収容	1年
助産学専攻	10	10	10 (10)

※ () 内は女性で内数

●大学院
〈2018年度以降（再編後）の組織の在籍者〉

(単位：人)

大 学 院			博士前期課程			博士後期課程			専門職学位課程			
			定 員 入学	現 員 収容	員 数 総数	定 員 入学	現 員 収容	員 数 総数	定 員 入学	現 員 収容	員 数 総数	
人文科学 研究科	社会行動学専攻		14	28	30 (15)	10	30	41 (19)	—	—	— (—)	
	人間科学専攻		17	34	35 (25)	6	18	40 (29)	—	—	— (—)	
	文化基礎論専攻		13	26	14 (5)	5	15	10 (5)	—	—	— (—)	
	文化関係論専攻		5	10	21 (15)	4	12	9 (7)	—	—	— (—)	
	小 計		49	98	100 (60)	25	75	100 (60)	—	—	— (—)	
法学 政治学 研究科	法学政治学専攻	法律学分野	6	12	10 (4)	4	12	12 (4)	—	—	— (—)	
	政治学分野	4 (0)	1 (0)	— (—)								
	法曹養成専攻		—	—	— (—)	—	—	— (—)	40	120	101 (34)	
	小 計		6	12	14 (4)	4	12	13 (4)	40	120	101 (34)	
経営学 研究科	経営学専攻	経営学プログラム	50	100	67 (14)	5	15	36 (8)	—	—	— (—)	
		経済学プログラム									16 (1)	— (—)
		ファイナンスプログラム									25 (0)	— (—)
	小 計		50	100	108 (15)	5	15	36 (8)	—	—	— (—)	
理学 研究科	数理学専攻		25	50	56 (7)	8	24	10 (2)	—	—	— (—)	
	物理学専攻		35	70	71 (8)	10	30	23 (5)	—	—	— (—)	
	化学専攻		35	70	82 (28)	9	27	21 (8)	—	—	— (—)	
	生命科学専攻		40	80	96 (52)	16	48	36 (12)	—	—	— (—)	
	小 計		135	270	305 (95)	43	129	90 (27)	—	—	— (—)	
都市環境 科学 研究科	都市環境科学専攻	地理環境学域	15	30	35 (12)	5	15	8 (2)	—	—	— (—)	
		都市基盤環境学域	35	70	81 (23)	4	12	27 (7)	—	—	— (—)	
		建築学域	35	70	86 (30)	4	12	11 (3)	—	—	— (—)	
		環境応用化学域	50	100	99 (31)	6	18	25 (8)	—	—	— (—)	
		観光科学域	15	30	34 (16)	5	15	20 (10)	—	—	— (—)	
		都市政策科学域	15	30	23 (7)	5	15	9 (2)	—	—	— (—)	
	小 計	165	330	358 (119)	29	87	100 (32)	—	—	— (—)		
システム デザイン 研究科	システムデザイン専攻	情報科学域	35	70	92 (14)	6	18	31 (8)	—	—	— (—)	
		電子情報システム工学域	60	120	154 (15)	6	18	19 (4)	—	—	— (—)	
		機械システム工学域	65	130	158 (21)	6	18	38 (4)	—	—	— (—)	
		航空宇宙システム工学域	30	60	67 (6)	4	12	12 (1)	—	—	— (—)	
		インダストリアルアート学域	25	50	69 (40)	4	12	13 (5)	—	—	— (—)	
	小 計	215	430	540 (96)	26	78	113 (22)	—	—	— (—)		
人間健康 科学 研究科	人間健康科学専攻	看護科学域	10	20	26 (21)	4	12	20 (15)	—	—	— (—)	
		理学療法科学域	17	34	40 (18)	5	15	28 (9)	—	—	— (—)	
		作業療法科学域	10	20	16 (9)	4	12	18 (7)	—	—	— (—)	
		放射線科学域	21	42	55 (25)	6	18	22 (4)	—	—	— (—)	
		フロンティアヘルスサイエンス学域	4	8	5 (3)	2	6	3 (1)	—	—	— (—)	
		ヘルスプロモーションサイエンス学域	8	16	10 (4)	4	12	15 (2)	—	—	— (—)	
		小 計	70	140	152 (80)	25	75	106 (38)	—	—	— (—)	
	合 計	690	1,380	1,577 (469)	157	471	558 (191)	40	120	101 (34)		

〈2017年度以前（再編前）の組織の在籍者〉（単位：人）

大 学 院			博士前期課程			博士後期課程			専門職学位課程			
			定 員	現 員	総数	定 員	現 員	総数	定 員	現 員	総数	
			入学	収容		入学	収容		入学	収容		
システム デザイン 研究科	システム デザイン 専攻	知能機械システム学域	42	84	0 (0)	5	15	1 (0)	—	—	—	(—)
		情報通信システム学域	35	70	0 (0)	5	15	2 (0)	—	—	—	(—)
		航空宇宙システム工学域	35	70	0 (0)	5	15	0 (0)	—	—	—	(—)
		経営システムデザイン学域	35	70	0 (0)	5	15	0 (0)	—	—	—	(—)
		インダストリアルアート学域	25	50	0 (0)	4	12	2 (1)	—	—	—	(—)
	小 計	172	344	0 (0)	24	72	5 (1)	—	—	—	(—)	
人間健康 科学 研究科	人間健康科学 専攻	看護科学域	50	100	0 (0)	22	66	2 (1)	—	—	—	(—)
		理学療法科学域			0 (0)			1 (0)	—	—	—	(—)
		作業療法科学域			0 (0)			0 (0)	—	—	—	(—)
		放射線科学域			0 (0)			1 (0)	—	—	—	(—)
		フロンティアヘルスサイエンス学域			0 (0)			0 (0)	—	—	—	(—)
		ヘルスプロモーションサイエンス学域			0 (0)			0 (0)	—	—	—	(—)
		小 計			50			100	0 (0)	22	66	4 (1)
	合 計	675	1,350	0 (0)	165	495	25 (9)	52	156	0 (0)		

※（ ）内は女性で内数

■科目等履修生等の状況（単位：人）

科目等履修生	研究生	その他	合 計
95	71	50	216

※その他は特別科目等履修生

■外国人留学生

(1) 留学生（単位：人）

学 部	大学院	その他	合 計
62	409※ ¹	104※ ²	575

※¹ 内訳は博士前期課程205名、博士後期課程203名、専門職学位課程1名

※² 内訳は研究生54名、交換留学生50名

(2) 国・地域別留学生数（単位：人）

国・地域	留学生区分内訳			学生区分内訳								合 計
	国費	都費	私費	学部	専攻科	博士前期課程	博士後期課程	専門職学位課程	研究生	科目等履修生	交換留学生	
中華人民共和国	4	17	318	50		148	83		50		8	339
インドネシア	15	25	10			12	33		2		3	50
大韓民国		2	22	9		2	6		1		6	24
バングラデシュ		18	1			1	18					19
タイ	2	15	2			7	12					19
フィリピン	10	3	1			10	4					14
台湾		1	9			3	2	1	1		3	10
ブラジル	5	2	2			4	4				1	9
インド	2	4	2				8					8
フランス		1	7				2				6	8
マレーシア	2	4	2	1		2	5					8
スリランカ	1	6				4	3					7
ベトナム	1	4	1			1	5					6
イギリス			6								6	6
パキスタン	3	2	1			2	4					6
ドイツ			6								6	6
モンゴル	1	1	3	1			4					5
オーストラリア			5			1					4	5
メキシコ	1	1	1			1	2					3
アメリカ		1	2			1					2	3
エジプト		2					2					2
ミャンマー	1	1					2					2
ラオス		2				1	1					2
フィンランド			2								2	2
カタール	1					1						1
ブルガリア	1					1						1
ペルー			1			1						1
マダガスカル		1				1						1
ポーランド		1							1			1
イラン	1						1					1
ネパール		1				1						1
ボスニアヘルツェゴビナ	1						1					1
チュニジア	1			1								1
カンボジア		1					1					1
カナダ			1								1	1
シリア			1								1	1
合 計			53	114	408	62	205	203	1	54	0	575

入試状況

（2024年度入試結果）

●学部（単位：人、倍）

学部	学科	一般選抜					多様な選抜										全体
		募集人員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	合格者数	入学者数 (C)	募集人員 充足率 (C/A)	募集人員 (D)	志願者数 (E)	入学者数 (F)	募集人員 充足率 (F/D)	募集人員 (G)	志願者数 (H)	志願倍率 (H/G)	合格者数	入学者数	入学者数
人文学部	人間社会学科	75	381	5.08	96	85	1.13	30	82	29	0.97	5	27	5.40	4	4	118
	人文学科	53	299	5.64	75	64	1.21	31	79	32	1.03	6	14	2.33	4	4	100
	小 計	128	680	5.31	171	149	1.16	61	161	61	1.00	11	41	3.73	8	8	218
法学部	法学科	165	1,294	7.84	352	188	1.14	28	18	18	0.64	7	9	1.29	1	1	207
経済経営学部	経済経営学科(一般区分)	100	426	4.26	131	119	1.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	119
	経済経営学科(数理区分)	20	89	4.45	25	22	1.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
	経済経営学科(前期以外)	20	169	8.45	22	17	0.85	55	56	50	0.91	5	7	1.40	4	3	70
	小 計	140	684	4.89	178	158	1.13	55	56	50	0.91	5	7	1.40	4	3	211
理学部	数理科学科	35	231	6.60	41	39	1.11	10	19	10	1.00	若干名	9	—	0	0	49
	物理学科	36	195	5.42	41	39	1.08	11	19	12	1.09	若干名	4	—	0	0	51
	化学科	38	154	4.05	47	41	1.08	10	22	10	1.00	若干名	6	—	1	1	52
	生命科学科	30	267	8.90	39	35	1.17	28	47	26	0.93	2	5	2.50	0	0	61
	小 計	139	847	6.09	168	154	1.11	59	107	58	0.98	2	24	12.00	1	1	213
都市環境学部	地理環境学科	22	76	3.45	24	23	1.05	8	21	8	1.00	若干名	1	—	0	0	31
	都市基盤環境学科	34	130	3.82	46	40	1.18	15	11	11	0.73	1	1	1.00	0	0	51
	建築学科	35	389	11.11	41	39	1.11	13	38	14	1.08	2	8	4.00	0	0	53
	環境応用化学科	34	212	6.24	54	49	1.44	24	18	15	0.63	2	2	1.00	0	0	64
	観光科学科	25	104	4.16	28	28	1.12	5	19	5	1.00	若干名	1	—	0	0	33
	都市政策科学科(文系区分)	20	58	2.90	22	17	0.85	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
	都市政策科学科(理系区分)	10	23	2.30	11	10	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
	都市政策科学科(前期以外)	5	32	6.40	9	6	1.20	若干名	4	1	—	若干名	2	—	0	0	7
	小 計	185	1,024	5.54	235	212	1.15	65	111	54	0.83	5	15	3.00	0	0	266
システムデザイン学部	情報科学科	32	294	9.19	38	34	1.06	15	25	16	1.07	3	15	5.00	0	0	50
	電子情報システム工学科	66	400	6.06	80	73	1.11	17	12	11	0.65	2	9	4.50	0	0	84
	機械システム工学科	59	280	4.75	79	73	1.24	27	18	15	0.56	4	15	3.75	1	1	89
	航空宇宙システム工学科	34	208	6.12	49	45	1.32	9	2	1	0.11	2	3	1.50	1	1	47
	インダストリアルアート学科	38	251	6.61	44	43	1.13	11	35	9	0.82	1	1	1.00	0	0	52
小 計		229	1,433	6.26	290	268	1.17	79	92	52	0.66	12	43	3.58	2	2	322
健康福祉学部	看護学科	39	179	4.59	50	41	1.05	41	135	40	0.98	若干名	0	—	0	0	81
	理学療法学科	24	108	4.50	28	25	1.04	11	64	12	1.09	—	—	—	—	—	37
	作業療法学科	18	54	3.00	21	20	1.11	22	30	21	0.95	若干名	2	—	0	0	41
	放射線学科	27	152	5.63	33	33	1.22	13	80	9	0.69	—	—	—	—	—	42
	小 計	108	493	4.56	132	119	1.10	87	309	82	0.94	若干名	2	—	0	0	201
合 計		1,094	6,455	5.90	1,526	1,248	1.14	434	854	375	0.86	42	141	3.36	16	15	1,638

●専攻科（単位：人、倍）

専攻科	募集人員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	合格者数	入学者数 (C)
助産学専攻	10	90	9.0	10	10

●大学院（単位：人、倍）

研究科・専攻(学域)			前期課程(秋期入学を除く)					後期課程(秋期入学を除く)						
			入学定員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	受験者数	合格者数	入学者数 (C)	入学定員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	受験者数	合格者数	入学者数 (C)
人文学部研究科	社会行動学専攻		14	59	4.21	46	13	11	10	11	1.10	9	7	7
	人間科学専攻		17	87	5.12	69	17	17	6	15	2.50	14	7	7
	文化基礎論専攻		13	14	1.08	13	7	7	5	3	0.60	3	1	1
	文化関係論専攻		5	21	4.20	17	9	9	4	3	0.75	3	2	2
	小　　計		49	181	3.69	145	46	44	25	32	1.28	29	17	17
法学部研究科	法政治学専攻	法律学分野	6	6	—	6	2	2	4	2	—	2	1	1
		政治学分野		6	—	6	1	1		1	—	1	1	1
	小　　計		6	12	2.00	12	3	3	4	3	0.75	3	2	2

研究科・専攻(学域)			前期課程(秋期入学を除く)					後期課程(秋期入学を除く)						
			入学定員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	受験者数	合格者数	入学者数 (C)	入学定員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	受験者数	合格者数	入学者数 (C)
経営学研究科	経営学専攻	経営学プログラム	50	138	—	131	42	31	5	10	2.00	10	4	4
		経済学プログラム		25	—	23	10	9						
		ファイナンスプログラム		18	—	18	9	7						
	小　　計		50	181	3.62	172	61	47	5	10	2.00	10	4	4
理学研究科	数理科学専攻		25	51	2.04	45	32	25	8	4	0.50	4	4	4
	物理学専攻		35	80	2.29	73	48	33	10	4	0.40	4	4	4
	化学専攻		35	59	1.69	52	43	35	9	3	0.33	3	3	3
	生命科学専攻		40	70	1.75	64	48	44	16	8	0.50	7	7	6
	小　　計		135	260	1.93	234	171	137	43	19	0.44	18	18	17
都市環境科学研究科	都市環境科学専攻	地理環境学域	15	24	1.60	24	19	17	5	2	0.40	2	2	2
		都市基盤環境学域	35	44	1.26	43	37	36	4	4	1.00	4	4	4
		建築学域	35	81	2.31	76	52	47	4	1	0.25	1	1	1
		環境応用化学域	50	58	1.16	57	55	44	6	6	1.00	6	6	5
		観光科学域	15	41	2.73	36	21	18	5	2	0.40	0	0	0
		都市政策科学域	15	37	2.47	35	18	10	5	2	0.40	2	2	2
	小　　計		165	285	1.73	271	202	172	29	17	0.59	15	15	14
システムデザイン研究科	システムデザイン専攻	情報科学域	35	55	1.57	52	49	42	6	4	0.67	4	4	4
		電子情報システム工学域	60	136	2.27	128	85	73	6	4	0.67	4	3	2
		機械システム工学域	65	121	1.86	109	83	74	6	7	1.17	7	7	7
		航空宇宙システム工学域	30	68	2.27	66	39	33	4	1	0.25	1	1	1
		インダストリアルアート学域	25	48	1.92	47	35	34	4	4	1.00	4	3	3
	小　　計		215	428	1.99	402	291	256	26	20	0.77	20	18	17
人間健康科学研究科	人間健康科学専攻	看護科学域	10	21	2.10	20	12	11	4	8	2.00	8	4	4
		理学療法科学域	17	27	1.59	25	17	17	5	13	2.60	10	6	6
		作業療法科学域	10	8	0.80	6	6	6	4	6	1.50	6	6	5
		放射線科学域	21	30	1.43	30	25	25	6	5	0.83	5	5	5
		フロンティアヘルスサイエンス学域	4	5	1.25	5	4	4	2	0	0.00	0	0	0
		ヘルスプロモーションサイエンス学域	8	2	0.25	2	2	2	4	5	1.25	5	5	5
	小　　計		70	93	1.33	88	66	65	25	37	1.48	34	26	25
合　　計			690	1,440	2.09	1,324	840	724	157	138	0.88	129	100	96

		専門職学位課程					
		入学定員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	受験者数	合格者数	入学者数 (C)
法学政治学研究科							
法曹養成専攻							
3年履修課程		10	86	8.60	74	16	13
2年履修課程		30	201	6.70	159	44	30
合 計		40	287	7.18	233	60	43

進路状況

(2024年5月1日現在)

区　分	卒業者総数	就職	進学	就職希望	進学希望	その他	就職率（％）	不明
人文社会学部	197	160	22	3	1	10	98.2	1
法学部	189	143	21	4	3	15	97.3	3
経済経営学部	195	162	17	1	0	14	99.4	1
理学部	196	38	144	4	3	6	90.5	1
都市教養学部	人文・社会系	0	0	0	0	0	—	0
	法学系	3	2	0	0	0	100.0	0
	経営学系	1	0	0	0	0	—	1
	理工学系	3	1	0	0	0	100.0	1
	都市政策コース	0	0	0	0	0	—	0
小　計		7	3	0	0	1	100.0	2
都市環境学部	247	95	147	0	0	4	100.0	1
システムデザイン学部	316	80	223	2	1	10	97.6	0
健康福祉学部	192	140	41	1	0	6	99.3	4
合　計	1,539	821	615	15	9	66	98.2	13
【参考】2022年度	1,622	916	573	34	8	68	96.4	23

※学校基本調査とは、算出方法及び進路区分が一部異なる。

区　分	修了者総数	就職	進学	就職希望	進学希望	その他	就職率（％）	不明
東京都立大学　専攻科	10	10	0	0	0	0	100.0	0
合　計	10	10	0	0	0	0	100.0	0
【参考】2022年度	10	8	2	0	0	0	100.0	0

区　分	修了者総数	就職	進学	就職希望	進学希望	その他	就職率（％）	不明
人文科学研究科	29	14	12	0	1	2	100.0	0
法学政治学研究科	6	2	1	1	0	1	66.7	1
経営学研究科	35	28	4	1	0	1	96.6	1
理学研究科	144	107	27	2	0	6	98.2	2
都市環境科学研究科	153	125	19	1	0	8	99.2	0
システムデザイン研究科	248	218	24	2	0	3	99.1	1
人間健康科学研究科	70	40	15	3	0	7	93.0	5
合　計	685	534	102	10	1	28	98.2	10
【参考】2022年度	701	561	81	12	0	37	97.9	10

※学校基本調査とは、算出方法及び進路区分が一部異なる。

区　分	修了者総数	就職	進学	就職希望	進学希望	その他	就職率（％）	不明
人文科学研究科	8	3	0	2	0	2	60.0	1
法学政治学研究科	0	0	0	0	0	0	—	0
社会科学研究科	1	1	0	0	0	0	100.0	0
経営学研究科	1	1	0	0	0	0	100.0	0
理学研究科	31	21	1	0	0	2	100.0	7
理工学研究科	0	0	0	0	0	0	—	0
都市環境科学研究科	14	12	1	1	0	0	92.3	0
システムデザイン研究科	27	18	1	1	0	3	94.7	4
人間健康科学研究科	14	10	0	0	0	0	100.0	4
合　計	96	66	3	4	0	7	94.3	16
【参考】2022年度	89	66	1	2	0	6	97.1	14

※学校基本調査とは、算出方法及び進路区分が一部異なる。

●大学院（専門職学位課程：法学政治学研究科 法曹養成専攻）（単位：人）

区 分	修了者総数	就職	進学	就職希望	進学希望	その他*	就職率（%）	不明
東京都立大学 法科大学院	22	0	0	0	0	22	－	0
合 計	22	0	0	0	0	22	－	0
【参考】2022年度	9	0	0	0	0	9	－	0

※司法試験準備
※学校基本調査とは、算出方法及び進路区分が一部異なる。

（単位：人）

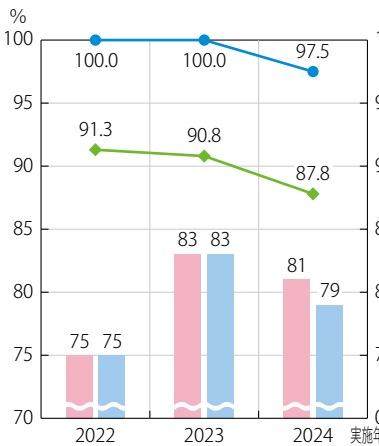
区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
司法試験合格者数 (法曹養成専攻修了者)	23	22	20	24	17	11

Topics

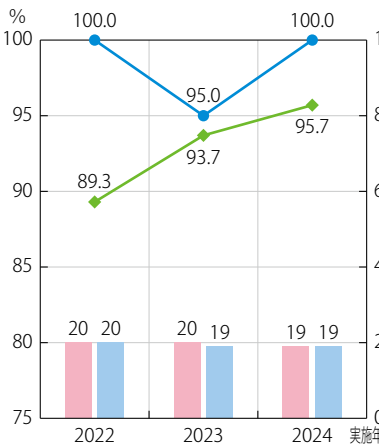
●国家試験合格状況（健康福祉学部）

■受験者数 ■合格者数 ●合格率(本学) ◆合格率(全国)

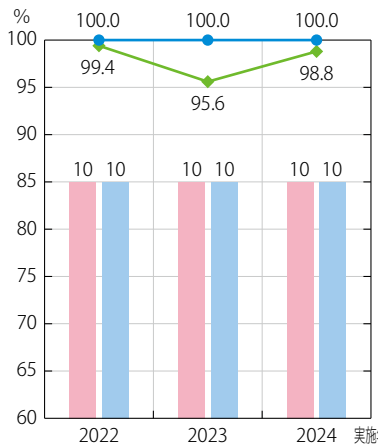
■看護師



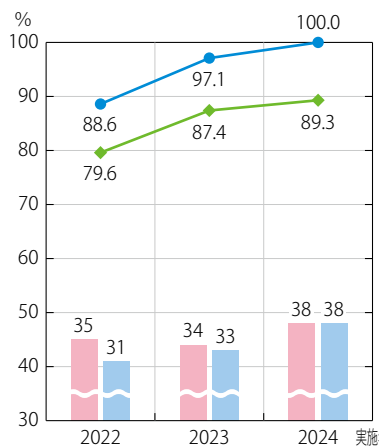
■保健師



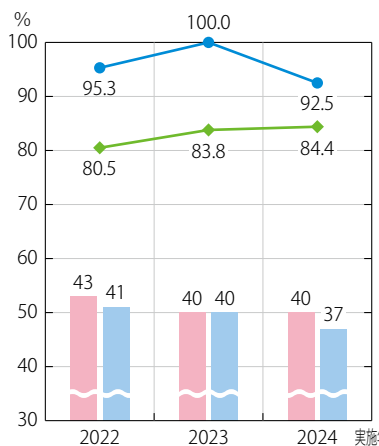
■助産師



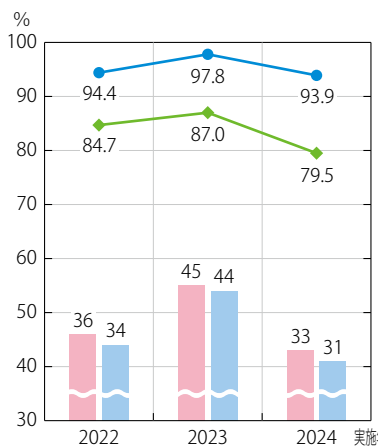
■理学療法士



■作業療法士



■診療放射線技師



※本学の数値は新卒者（9月及び3月卒業）のみが対象

研 究

■2024年度科学研究費助成事業採択状況（2024年4月内定時点）

（単位：件、千円）

研究種目	継続	件数			合 計	補助金		
		申請数	採択数	採択率（%）		直接経費	間接経費	合 計
新学術領域研究		0	0	－	0	0	0	0
学術変革領域研究	A	6	21	42.9%	15	133,300	39,990	173,290
	B	2	3	66.7%	4	44,600	13,380	57,980
基盤研究	S	0	1	0.0%	0	0	0	0
	A	6	17	23.5%	10	101,300	30,390	131,690
	B	67	99	28.3%	95	333,800	100,140	433,940
	C	133	152	38.2%	191	166,500	49,950	216,450
挑戦的研究※1	開拓	0	(11)	－	0	0	0	0
	萌芽	10	(81)	－	10	14,900	4,470	19,370
若手研究		40	51	52.9%	67	67,300	20,190	87,490
研究活動スタート支援※1		11	(20)	－	11	8,500	2,550	11,050
特別推進研究		1	0	0	1	44,700	13,410	58,110
研究成果公開促進費		0	3	33.3%	1	900	0	900
国際共同研究強化※1		1	－	－	1	0	0	0
海外連携研究※1		4	(13)	－	4	16,900	5,070	21,970
合 計※2		281	347	37.2%	410	932,700	279,540	1,212,240

※1 応募前又は審査中のため、申請数は（ ）付とし、採択数の記載なし。
※2 申請数の合計には、応募前又は審査中の挑戦的研究（開拓・萌芽）及び研究活動スタート支援、国際共同研究強化、海外連携研究については含まれない。

■外部資金受入状況（2023年度）

（単位：件、千円）

区分	件数	総額
共同研究	138	317,226
受託研究	24	32,315
提案公募型研究	89	804,647
特定研究寄附金	116	155,129
合 計	367	1,309,317

■間接経費（2023年度）

（単位：千円）

区分	総額
科学研究費助成事業	276,341
提案公募型研究	233,128
その他	5,739
合 計	515,208

※分担金を含む

■客員研究員受入人数（2024年5月1日現在）

人数	494
----	-----

東京都との連携実績

(2023年度実績)

局名	事業名	事業概要	教員所属・関連組織
政策企画局	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（層状構造を持つ新しいエネルギー材料の創出を目指す、超伝導体及び熱電変換材料の新物質の開発及びデバイス化に向けた応用研究の推進）を通じて留学生の指導・育成を実施	理学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（植物資源（非可食バイオマス、植物油）を活用した環境負荷低減化に寄与する新規高機能材料の創製）を通じて留学生の指導・育成を実施	理学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（運動器組織である軟骨や腱・靱帯のみならず、骨との結合を再現した複合的な生体組織を培養環境で生成する再生医療技術の確立）を通じて留学生の指導・育成を実施	システムデザイン学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（二酸化炭素の高度リサイクル・資源化技術の確立を目的とした革新的触媒及び反応システムの開発）を通じて留学生の指導・育成を実施	都市環境学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（ガンの特徴を利用して、ガン細胞特異的に化学物質による細胞死を引き起こすことで、事実上副作用のない、確実に効果が期待できる、次世代のガン治療法を提案）を通じて留学生の指導・育成を実施	理学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（万能薬としての機能が期待される細胞小胞体エクソソームの作用機序の解明及び医療応用の検討に係る研究）を通じて留学生の指導・育成を実施	都市環境学部
	都市外交人材育成基金を活用した事業（高度研究）	将来、東京と海外諸都市に共通する課題の解決や相互の発展に貢献し、日本との架け橋となって活躍する人材を育成するため、高度研究（アジアの大都市流域圏における浮遊ごみの発生から下水道・河川を経由して沿岸・海洋に拡散してゆくプラごみへの対応策の解明）を通じて留学生の指導・育成を実施	都市環境学部
	Global City Network for Sustainability (G-NETS) におけるワーキンググループに係る運営等業務委託技術審査委員会	委託業者選定のための技術審査委員会委員に都立大教員が就任	国際センター
国際金融都市戦略室	東京金融賞	東京金融賞において、各部門の受賞企業を選定する審査員委員に都立大教員が就任し、審査を実施。	経済経営学部・経営学研究科
	FinCity.Tokyo（一般社団法人東京国際金融機構）への加入	「国際金融都市・東京」構想に基づき設立されたFinCity.Tokyo（一般社団法人東京国際金融機構）に特別会員として加入し、同機構の事業に協力。	東京都立大学
	スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムへの参画	東京の「稼ぐ力」の更なる強化と国際プレゼンスの向上に向け、産学官の多様な主体により構成される広域連携プラットフォーム「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」に正会員として参画。	経営企画室
	TIBパートナーへの参画	官民協働してスタートアップの機運を高めるため、TIBパートナーに参画。令和6年3月8日にTIBにおいてイベントを開催した（ものづくりスタートアップの最前線～大学シーズを活用したイノベーションの創出～）	経営企画室
子供政策連携室	ユースヘルスケア普及啓発	若者目線で思春期に知っておきたい情報を一元的に発信するホームページ「TOKYO YOUTH HEATHCARE」を用いたユースヘルスケアの普及啓発業務委託の技術審査委員会に係る技術審査委員に都立大教員が就任	経済経営学部
	こどもスマイルムーブメント	社会のあらゆる主体との連携の輪を広げ、官民一体となって「子供の笑顔があふれる社会」「安心して子供を産み育てられる社会」を目指す取組として、「こどもスマイルムーブメント」を戦略的に展開この取組を推進していくため、関連する契約の技術審査委員会委員に都立大教員が就任	経済経営学部
	事故情報データベース構築事業	設計・開発等委託及びプロジェクト管理等業務委託業者選定のための技術審査委員会委員に都立大教員が就任	システムデザイン学部
	子供・子育てメンター	広報素材制作委託業者選定のための技術審査委員会委員に都立大教員が就任	経済経営学部
	学齢期の子育ち	令和6年度から実施する3件の業務委託業者選定のための技術審査委員会委員に都立大教員が就任	人文科学研究科
総務局	東京リカレントプロジェクト	社会人・高齢者の学び直しやキャリアアップ・キャリアチェンジにつながる教育コンテンツ等を掲載したポータルサイト「東京リカレントナビ」にて都立大学・産技大等の公開講座等を掲載。また、都立大学と連携し学び直しにつながる啓発動画（ミニッツ動画）を配信	東京都立大学
	公務の生産性向上に関する共同研究	人口減少社会の到来による人材確保の困難化、都政課題の多様化・複雑化が進む中、都庁の更なる生産性向上に向けて、これまでの業務効率化及び組織活性化の取組の成果検証方法や生産性の向上策等について、東京都と共同研究等を実施	経済経営学部
	東京都政策連携団体役員選任に係る名簿の提供	東京都政策連携団体の役員選任にあたり、専門的見地を持った学識経験者の登用が必要となった場合の参考とするため、名簿を提供	総務部
	東京都情報公開条例に基づき、開示決定等の当否について審議し、併せてその審議を通じて情報公開制度の改善や情報公開の総合的な推進を図るために必要な事項について、実施機関に意見を述べることにより、条例の公正かつ民主的な運営を確保	東京都情報公開条例に基づき、開示決定等の当否について審議し、併せてその審議を通じて情報公開制度の改善や情報公開の総合的な推進を図るために必要な事項について、実施機関に意見を述べることにより、条例の公正又は民主的な運営を確保	法学部
	東京都個人情報保護審査会	東京都個人情報保護に関する条例に基づき、開示決定等の当否について審議し、併せてその審議を通じて個人情報保護制度の改善や個人情報保護の総合的な確立を図るために必要な事項について、実施機関に意見を述べることにより、条例の公正又は民主的な運営を確保	法学部
	業務の実態を踏まえた改善支援委託技術審査委員会	業務の実態を踏まえた改善支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会委員に都立大教員が就任	都市環境学部、経済経営学部
	東京宝島ブランドサポーターシップ	東京都立大学の学生4名を東京の島しょ地域（八丈島、利島）へ派遣し、特産品事業者とプロモーションの企画や商品開発等を実施	経営企画室
	性的マイノリティに関する企業向けポータルサイトへの記事掲載	性的マイノリティに対してフレンドリーなあり方を検討している企業に対し情報提供を行うためのポータルサイトに、東京都立大学における取組事例の記事を掲載	管理部
	科学技術週間特別行事の実施	若年世代の科学技術離れが進んでいることから、主に小・中学生を対象に科学技術に関する理解と関心を深めるため、科学技術週間を中心とした期間に、科学啓発のためのイベントを開催	システムデザイン学部、理学部
	都立大のオープンユニバーシティへの特別講座開設	東京都立大学オープンユニバーシティの開催講座のうち、「江戸・東京」に関して講座内容を企画し、講師を派遣。また、公益財団法人特別区協議会と共催で、東京区政会館にて開催するパネル展関連講座を企画・運営	管理部

局名	事業名	事業概要	教員所属・関連組織
総務局	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「東京都公文書館の取組について」	東京都立大学プレミアム・カレッジの授業科目「都政課題」の授業（フィールドワーク）を実施	管理部
	ビジネススクールへの受入れ	「自治体間協力促進のための派遣受入研修」として道府県及び指定都市の職員を2年間研修員として都政実務に従事させるとともに、勤務時間外において東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻博士前期（修士）課程経営学プログラム（公共経営）の学生として令和5年度からの受入れに向けて調整を実施。 また、「大学院修士課程修学支援」として、管理職候補者の中から指名した職員を勤務時間外において東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻博士前期（修士）課程経営学プログラム（公共経営）に受入れ	経済経営学部
	資金運用研究会	東京都職員共済組合における資金運用の基本的な問題について調査研究し、組合の長期給付積立金の安全かつ効率的な運用に資するため、資金運用研究会を設置・開催	経済経営学部
	管理職候補者研修「経営管理」	東京都の管理職候補者を対象に、経営管理及び政策立案をテーマにした研修を実施	経済経営学部
	都市政策研修	東京都の若手職員を対象に、広い視点から首都東京の政策系を担いうる人材育成寄与を目的とした研修を、東京都の中央研修と都立大都市環境学部が連携して実施	都市環境学部
	火山防災協議会	活動火山対策特別措置法第4条に基づき、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島及び青ヶ島の各火山における警戒避難体制を整備するために、火山災害警戒地域に指定された東京都及び関係町村（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、八丈町及び青ヶ島村）が共同で設置しており、伊豆諸島6火山の火山避難計画等について検討・策定	都市環境学部
	火山防災協議会幹事会	火山防災協議会のもとに設置しており、協議会協議事項について事前協議や連絡調整を実施	都市環境学部
	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「都の防災対策について」	東京都立大学プレミアム・カレッジの授業科目「都政課題」の授業を実施	管理部
	「東京防災」・「東京くらし防災」のリニューアル	防災ブック「東京防災」及び「東京くらし防災」をリニューアルするために都が設置した『「東京防災」・「東京くらし防災」編集・検討委員会」に、都立大名誉教授が実施委員として意見交換等を実施	都市環境学部
	区市町村から都への派遣研修生研修会	区市町村から都に研修派遣で派遣されている職員を対象に、都立大学の特徴や役割を理解いただくため、研究内容や、都との連携事業等に関する説明、現場視察等を実施	システムデザイン学部
	津波検知システム構築事業	沿岸部・島しょ部の津波被害を減らすために、巨大津波発生を早期に検知し、都民にいち早く伝えるシステムを構築	システムデザイン学部
財務局	政策評価・グループ連携事業評価	政策評価・グループ連携事業評価制度の運用に際し、専門的知見を有する外部有識者として助言を実施	都市環境学部、人文社会学部
	財務局庁有乗用自動車運行管理業務委託技術審査委員会	財務局庁有乗用自動車運行管理業務委託の技術審査委員会審議に際し、仕様書及び落札者決定基準について、都立大教員が専門的知見から助言を実施	都市環境学部
デジタルサテラ局	東京データプラットフォーム協議会運営事業業務委託技術審査委員会	東京データプラットフォーム協議会運営事業業務委託において、受託者を選定する審査会委員（有識者）に都立大教員が就任	システムデザイン学部
	デジタルキャッチアップ研修（データサイエンス研修）	都政のDX推進にあたり、デジタル技術を活用し、職場の課題解決等に資する技術的な土台を築くため、データサイエンスの基礎的な手法や概念、及びEBPM（証拠に基づく政策立案）推進に必要な基本的な知識に関する研修を都立大教員が実施	大学教育センター
生活文化スポーツ局	都の審議会等への女性委員登用にに向けた東京都立大学女性教員情報の提供	政策決定の過程における女性の参画を進め、社会のあらゆる分野における女性の活躍を促すため、都立大の女性教員情報を各局へ提供	総務部
	美術館等文化施設との連携	東京都歴史文化財団パートナーシップ事業会員校として、学生・教職員の美術館、博物館の常設展示無料入場、特別展等の観覧料の割引、ホール等の公演観覧の優待を実施・現場体験型インタナシップの受け入れを実施	管理部
	消費者被害防止に向けた学生向け出前講座の活用	効果的な消費者教育の展開に向け、多様な主体との連携により消費者教育を推進していくため、東京都生活文化スポーツ局と連携として、都立大学の新生向けオリエンテーション等で出前講座を実施	管理部、健康福祉学部
	東京都私立学校助成審議会	東京都私立学校教育助成条例に基づき、東京都が学校法人に対し行う助成の適正化及び効率化を図る、東京都私立学校助成審議会の委員に都立大教員が就任	人文社会学部
	「東京ボランティアレガシーネットワーク」を活用した情報発信	ボランティア文化の定着のための取組として、東京2020大会関連ボランティアをはじめとする活動希望者の活躍の場を広げるためのポータルサイト「東京ボランティアレガシーネットワーク」内で、ボランティア募集情報をはじめとした様々な情報提供を実施	管理部
	東京都ライフデザインセミナー	結婚支援事業のひとつであるライフデザイン構築支援の一環として、若年層が結婚を含めたライフデザインについて考える授業を実施	大学教育センター
	TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業	都内スポーツ団体等の活動機会を確保するため、都内の大学・企業等が所有するスポーツ施設を活用できる仕組みを構築	管理部
都市整備局	大学生に向けた特殊詐欺加害防止啓発	大学生が「楽して高収入」「日給5万円以上」などの募集に騙され、闇バイトに応募することのないよう、大学生向けに特殊詐欺加害防止用のリーフレットの作成・配布を実施	東京都立大学
	東京都防災都市づくり推進計画検討部会	東京都震災対策条例に規定する防災都市づくりに関する計画の検討に当たり、学識経験者等の専門的意見を反映させるため、防災都市づくり推進計画検討部会に都立大教員が参加	都市環境学部
	避難場所調査検討部会	東京都震災対策条例に基づき知事が避難場所等を指定するに当たり、学識経験者等の専門的意見を反映させるため、部会に都立大教員が参加。部会は、避難場所等及び避難道路の安全性に係る専門的、技術的事項等について検討	都市環境学部
	東京都地域危険度測定調査部会	東京都震災対策条例第12条に規定する地域危険度の測定調査に当たり、学識経験者等による専門の立場から検討を行うため、部会に都立大教員が参加。部会は、地域危険度に係る専門的、技術的事項等について検討	都市環境学部
	都市復興訓練等への講師派遣	「都市復興の理念、目標及び基本方針」や「東京都震災復興マニュアル」等に基づき、都や区市町村職員等を対象とした図上訓練（被災後の都市復興に係る計画の作成や地域住民と協働の復興まちづくり訓練の企画・立案等）を実施。都立大学の教授をはじめとする学識経験者が、訓練内容の企画・検討、訓練時の講演・演習指導・講評	都市環境学部
	東京都建築審査会委員	東京都建築審査会委員に都立大教員が就任	健康福祉学部
	都市の事前復興シンポジウム	首都直下地震等の大規模災害からの都市復興を円滑に進めるため、事前に「復興まちづくり」について考える都民参加型のシンポジウムを実施	都市環境学部
	東京都開発審査会	開発許可処分等に係る審査請求に対する裁決、市街化調整区域における開発許可に関する審議等を行うために設置された開発審査会の委員に都立大教員が就任	都市環境学部

局名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
都市整備局	南大沢スマートシティ協議会	デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出す「スマート東京」の実現に向けて設立された「南大沢スマートシティ協議会」の委員に都立大教員が就任	都市環境学部、システムデザイン学部
	盛土のあり方検討会議有識者検討会	宅地造成及び特定盛土等規制法の運用に当たり、東京都の地域特性などを踏まえた必要十分となる制度の構築に向け、専門的な意見を聴取するため設置された「盛土のあり方検討会議有識者検討会」に都立大教員が参加	都市環境学部
住宅政策本部	先駆的空き家対策東京モデル支援事業補助対象事業者選定委員会	区市町村が企画提案する空き家対策事業を適切に評価するために設置した補助対象事業者選定委員会に都立大教員が参加し、専門的な知見に基づく評価を実施	都市環境学部
	東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業業務委託	委託業者選定に際し、総合評価方式の審査基準等について、都立大教員が専門的な知見に基づく助言を実施	都市環境学部
	都営住宅への学生入居による地域コミュニティ支援事業	東京都と都営住宅への学生入居による地域コミュニティ支援事業に関する協定を結び、学生に対して入居募集案内を周知	経営企画室
	令和6年度大規模分譲住宅団地の再生に係る調査検討支援業務委託に関する企画審査会	委託業者選定のための企画審査会に都立大教員が参加し、専門的な知見に基づく評価を実施	都市環境学部
	東京都住宅政策審議会	東京都住宅基本条例第17条の規定に基づき、住宅政策に関する重要事項を調査審議する東京都住宅政策審議会に都立大教員が参加	都市環境学部
	政策課題解決型空き家活用支援事業補助対象事業者選定委員会	補助対象事業者選定委員会に都立大教員が参加し、専門的な知見に基づく評価を実施	都市環境学部
	地域課題解決型空き家活用支援事業補助対象事業者選定委員会	補助対象事業者選定委員会に都立大教員が参加し、専門的な知見に基づく評価を実施	都市環境学部
	既存住宅流通促進民間支援事業補助対象事業者選定委員会委員	補助対象事業者選定委員会に都立大教員が参加し、専門的な知見に基づく評価を実施	都市環境学部
環境局	東京グリーン・キャンパス・プログラム	東京都環境局と協定を締結し、次世代の担い手である大学生に保全地域を活用した緑地保全活動に参加する機会を提供することで、緑の保全に対する関心の喚起や行動力の醸成を促進	都市環境学部
	東京都環境審議会	東京都環境基本条例第25条の規定に基づき、都の区域における環境の保全に関して基本的事項を調査審議する東京都環境審議会に都立大教員が参加し、専門的な知見から助言を実施	理学部
	東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象の実態解明に関する研究	東京における温暖化実態とゲリラ豪雨等局地的極端現象の発生実態を把握し、温暖化と局地的極端現象との関係を解析することによって、ゲリラ豪雨等局地的極端現象発生メカニズムの解明や予測手法の確立に寄与	都市環境学部
	大気環境モニタリングに関する検討会委員	東京都における大気汚染常時監視体制の整備等について都立大教員が専門的な見地から学識経験者として助言	都市環境学部
	東京都立大学プレミアム・カレッジ	東京都の行政職員を講師として招聘し、都立大のプレミアム・カレッジ生を対象に自然公園事業についての講義を実施	管理部
	東京都環境影響評価審議会	環境影響評価及び事後調査に関する事項について専門的な見地から調査審議する東京都環境影響評価審議会に都立大教員が参加	都市環境学部
福祉局	東京都社会福祉審議会民生委員審査専門分科会	民生委員候補者の適否について審査する東京都社会福祉審議会民生委員審査専門分科会に都立大教員が参加	人文社会学部
	東京都社会福祉審議会	社会福祉に関する基本的事項（児童福祉及び精神障害者福祉に関する事項を除く。）に関して調査審議し、知事の諮問に答え、又は関係行政庁に意見を具申する東京都社会福祉審議会に都立大教員が参加	人文社会学部
	東京都障害者介護給付費等不服審査会	障害者総合支援法第98条1項に基づき、都が条例（平成18年条例第55号）により設置する附属機関で、区市町村が行った介護給付費等に係る行政処分に関する不服申立ての審理を行う東京都障害者介護給付費等不服審査会に都立大教員が参加	人文社会学部
	東京都在宅療養推進会議在宅介護・医療協働推進部会	在宅療養推進会議の下に本部会を設置し、訪問看護推進総合事業の実施方法の検討・評価を行うとともに、中長期的な対策も含め、今後の支援策について検討をする東京都在宅療養推進会議在宅介護・医療協働推進部会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	東京都地域福祉支援計画推進委員会	東京都における看護人材の需給推計等を踏まえ、計画的・安定的な確保をはかるため、看護人材確保対策について検討する東京都地域医療対策協議会看護人材部会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	共生社会実現に向けた意識啓発推進事業	都立大学と連携し、調査等を実施することにより、共生社会の実現に向けた効果的な取組等を検討する一助とする（R5年度はR6事業開始に向けた準備を都立大の教員と実施）。	健康福祉学部
保健医療局	東京都医学総合研究所との教育研究協力	都立大学の学生を東京都医学総合研究所に派遣するとともに、研究所の研究者を客員教員として受け入れ、大学における講義等を実施していただく等、人材育成及び研究交流を実施	理学部
	東京都糖尿病医療連携協議会	都内全域を視野に、予防から治療までの一貫した糖尿病対策の推進を図り、都民の誰もが身近な地域で症状に応じた適切な治療を受けられる医療連携体制を構築する東京都糖尿病医療連携協議会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	東京都リハビリテーション協議会	東京都及び地域におけるリハビリテーションサービス提供体制のあり方について検討するとともに、リハビリテーションの推進に関する事業を行う東京都リハビリテーション協議会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	東京都地域医療対策協議会看護人材部会	東京都における看護人材の需給推計等を踏まえ、計画的・安定的な看護人材の確保をはかるため、看護人材確保対策について検討する東京都地域医療対策協議会看護人材部会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	東京都ナースプラザ運営協議会	東京都ナースプラザの円滑かつ効果的な運営を行うため、東京都ナースプラザの事業計画に係る調整及びその他運営に関することを協議する東京都ナースプラザ運営協議会に都立大教員が参加	健康福祉学部
	東京都食品安全情報評価委員会	食品の安全に関する様々な情報を分析・評価して科学的知見に基づいて評価し、その結果を施策に反映することにより健康への悪影響を未然に防止する東京都食品安全情報評価委員会に都立大教員が参加	法学部
	東京都医学総合研究所との研究協力	東京都医学総合研究所と、将来の感染症対策に資する研究としてそれぞれの強みを活かした連携研究を実施	都市環境学部、理学部、大学教育センター
	東京都ドクターヘリ運航事業	救急患者の救命率等の向上及び救急患者搬送体制の拡充を図る東京都ドクターヘリの運航に協力	総務部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立病院職員と学生相互の人材交流、人材育成を図るため、都立病院に臨床実習生を派遣（診療放射線科）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	理学療法領域の人材育成を図るため、臨床実習生を派遣	健康福祉学部

局名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
保健医療局	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立病院職員と学生相互の人材交流、人材育成を図るため、都立病院に臨床実習生を派遣（看護部）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	認定看護師としての講師派遣及び実習受入れ	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立大教員が多摩南部地域病院における院内研修の講師として講義を実施（看護研究）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立大教員が駒込病院における院内研修の講師として講義を実施（看護研究）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	各都立病院へ大学一年生の現場体験型インターンシップ生を派遣（リハビリテーション科）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	各都立病院へ大学一年生の現場体験型インターンシップ生を派遣（多摩総合医療センター看護部）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立大教員が墨東病院における院内研修の講師として講義を実施（人材育成アドバンス研修・人材育成ベーシック研修）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	看護部長、人材マネジメント担当副看護部長、リスクマネージャー、感染管理看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師、看護相談看護師長がそれぞれ看護管理実習の講義を実施	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立大教員が大塚病院における院内研修の講師として講義を実施（リーダーシップ育成研修・看護倫理研修）	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	都立大教員が大塚病院における院内研修の講師として講義を実施（看護研究）	人間健康科学研究科
	東京都立病院機構との連携講座の実施	都立大教員が放射線治療学連携講座、特定講座（放射線治療など）を実施	人間健康科学研究科
	都立病院等X線精度管理の実施	都立大と都立病院等の各施設が連携して、X線装置の精度管理を実施	人間健康科学研究科
	東京都立大学での講義（放射線治療技術学実習等）	都立病院の職員を招聘し、都立大にて講義を実施	健康福祉学部
	オープンユニバーシティ特別講座	都立病院機構と連携し、オープンユニバーシティ講座として、臨床研究支援人材育成講座を実施（1月から3月）	経営企画室、健康福祉学部
	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)	都立病院機構で実施するTokyoヘルスケアサポーター養成講座を、カレッジ内の1科目として位置付けて実施	管理部
産業労働局	サステナブルスタートアップ調査研究	東京都における自殺者の傾向やこれまでの東京都の自殺対策を踏まえ、更なる効果的な自殺予防施策に結び付ける研究を実施	健康福祉学部
	東京都立病院機構との連携による人材育成	各都立病院へ大学一年生の現場体験型インターンシップ生を派遣（神経病院看護部）	健康福祉学部
	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「都における中小企業振興について」	カレッジ生を対象にした都の施策の説明と施設の見学を東京都に依頼	管理部
	5G技術活用型開発等促進事業	東京都立大学が本事業の連携事業者として参画し、ローカル5Gが整備された東京都立大学のキャンパスを、スタートアップの実証フィールドとして使用	管理部
	(新)東京型スマート農業の新展開(令和6年度から) (旧)東京型スマート農業プロジェクト	東京型スマート農業プロジェクトのプラットフォームの会員として都立大教員が参加	総合研究推進機構
	「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」審査会委員	大都市東京において木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物または木質空間を表彰するコンクールの審査委員会の委員に都立大教員が就任	都市環境学部
	観光経営人材育成事業	都立大教員による観光関連事業に従事する経営層等を対象とした講座を開講するとともに、高度観光専門人材の育成に向けた調査・研究を実施	都市環境学部
	観光マーケティング調査（研究機関と連携したデジタルマーケティング）	プロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）により、「GO TOKYO」のアクセスログや観光客数等実態調査等を活用した分析を実施	都市環境学部
	Tokyoスイソ推進チーム	水素エネルギーの普及に向け、官民両輪によるムーブメントを醸成すべく、民間企業や都内自治体等と共に発足した「Tokyoスイソ推進チーム」の活動に関する意見交換及び情報共有等を目的とした運営会議に、都立大教員が参加	水素エネルギー社会構築推進研究センター
	地域における再エネシェアリング推進事業	地域の再生可能エネルギーを無駄なく活用するため、再生可能エネルギーの自家消費とともに地域全体でのエネルギーシェアリングを推進する事業への協力を実施	経営企画室
	東京都立大学等と連携した環境学習講座	今後の大学生等を対象にした環境学習講座について都立大教員と産業労働局が意見交換を実施	水素エネルギー社会構築推進研究センター
	次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業	東京都立大学が本事業の連携事業者として参画し、ローカル5Gが整備された東京都立大学のキャンパスを、スタートアップの実証フィールドとして使用	管理部
	研修生受入れ	専門技術の習得又は研究のための研修生として、学生1名を派遣	システムデザイン学部
	TAMA-LEAP	「TAMA-LEAP」運営委員会において、パートナー機関の東京都立産業技術研究センターにサポートメンバー（企業）の入会・脱会審査を依頼	管理部
	TIRIクロスミーティング	中小企業に、東京都立産業技術研究センターおよび連携機関の技術シーズを発表するマッチングイベントにおいて、都立大教員が発表を実施（発表テーマ：「障害がある子どもに対するストロー補助具の開発」）	健康福祉学部
	労働セミナー	労働法改正の周知など、時事的な課題について、労働相談情報センターと都立大とが共同して全都を対象としてセミナーを開催	管理部
中央卸売市場	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「豊洲市場の取組について」	東京都立大学プレミアム・カレッジの授業科目「都政課題」の授業を実施	管理部
建設局	希少動物の保全、研究及び教育に関する基本協定（現場体験型インターンシップ等）	希少動物に関わる共同研究及び生物多様性保全に貢献する人材の育成並びに地球環境保全に関する普及啓発活動についての連携協力(都立動物園水族園でのインターンシップや調査研究の受入れ等)	都市環境学部

局名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
建設局	河川流域整備に関する研究	中小河川流域の流域対策による浸水被害の軽減効果を検討する。 また、神田川・環状七号線地下調節池の効率的な運用の検討を試みる	都市環境学部
	メガロポリステクニカルセミナーの実施	教育研究協力の一環として都立大学生向けに実施する「土木技術に関する講座」に土木技術支援・人材育成センターから講師を招聘	都市環境学部
	建設局実務研修	建設局職員を中心とする技術職員向け実務研修に、都立大教員が講師として参加	都市環境学部
	建設局事業紹介展示の実施	東京都立大学の学園祭「みやこ祭」の理系研究発表等の企画「TECHNO SQUARE」に、建設局事業紹介を兼ねて建設局アーカイブ資料の展示（関東大震災～戦前に整備された隅田川の橋の資料を中心に、パネル・映像等）を行う。	都市環境学部
	河川構造物のDEF現象を考慮した長期耐久性の検証	DEF現象によるひび割れへの影響評価を行うため、実構造物とプレキャストの配合を元に供試体を作成し、30年間に亘る長期モニタリングを実施	都市環境学部
	事業評価委員会	事業評価委員会の委員として都立大教員が参加	都市環境学部
	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「水害から都市を守る河川施設」	東京都立大学プレミアム・カレッジの授業科目「都政課題」の授業を実施	管理部
	TMUサステナブル研究推進機構を活用した調査研究	隅田川の沿岸整備による訪問者や周辺居住者への効果に関する定量的分析を実施	都市環境学部
港湾局	東京港における放射性物質の測定	東日本大震災の原子力発電所事故に伴う、東京港の風評被害対策の一環として、国際貿易船のバラスト水として使用される東京港内の海水（第一航路で採取した表層海水）の、放射性物質（放射性ヨウ素及び放射性セシウム）の測定を都立大教員が実施	理学部
	港湾局研修への講師派遣	港湾局研修において、都立大教員が講義を実施	都市環境学部
水道局	人口構造やライフスタイル等の変化に着目した生活用水の使用実態に関する研究	これまでの研究で作成した生活用水使用水量に関する基礎となる推計手法に、最新データを含む複数年度のデータ等を加えることで、人口構造やライフスタイル等の経年変化を考慮した推計手法の作成を目的とする研究を実施	都市環境学部
	Tokyowater Drinking Station	街中の給水スポット（DS）でマイボトルに水道水を給水して飲用する、環境にやさしいライフスタイルを提唱し、日常的な水道水の飲用や水道事業への理解、環境配慮行動の促進を図る事業に都立大が協力	経営企画室
	水運用システムに係る意見の聴取	水運用システムの改修委託を実施するにあたり、最新の知見を反映したシステムとなるよう、水道技術、AI等の最新技術、セキュリティなどの知見を持つ複数の都立大教員が助言	都市環境学部、システムデザイン学部
	管路附属設備の劣化状況を考慮した補修更新のあり方に関する研究	管路附属設備の劣化状況を考慮した、より効果的かつ効率的な附属設備の調査及び補修更新のあり方を検討	都市環境学部
	次期東京都水道局環境計画基礎調査等業務委託に係る企画提案等審査委員会	委託業者選定のための企画提案等審査委員会委員に都立大教員が就任し、専門的な知見に基づく審査を実施	都市環境学部
	気候変動の影響を考慮した小河内貯水池の濁水対策に関する共同研究	局地的な豪雨等によって発生する小河内貯水池への濁質の流入と滞留について、貯水池内での濁質の分布状況を三次元で予測するシミュレーションモデルを構築し、下流浄水場への影響の把握に活用するための研究を実施	都市環境学部
下水道局	東京都立大学プレミアム・カレッジ(授業科目名：都政課題)「下水道事業の取組」	東京都立大学プレミアム・カレッジの授業科目「都政課題」の授業を実施	管理部
	下水道幹線管路内用調査ロボットの開発に向けた調査	下水道幹線管路内の無人調査用ロボットを開発する研究に向けた調査を実施	システムデザイン学部
	低温余剰廃熱を有効活用する技術に関する開発に向けた調査	下水污泥焼却炉の低温余剰廃熱を有効活用する技術に関する開発に向けた調査を実施	システムデザイン学部
教育庁	東京都立大学 都立高校生のための先端研究フォーラム	都立高校の生徒を対象として、都立大教員等による、最先端の研究に関わる講演を実施することで、生徒の大学進学への目的を明確にするとともに、大学進学後の自身の在り方を意識させることに寄与	管理部
	東京都立大学 大学と連携したIT人材育成事業	都立大において、最先端の科学技術に関する講義や研究を体験することにより、科学技術に対する生徒の興味・関心を深めるとともに、研究室等を見学し、研究内容を体験することにより、将来の進路に向けての動機付けとすることに寄与	システムデザイン学部
	TEPRO Supporter Bank（人材/バンク）への登録支援	公益財団法人東京学校支援機構が運営する、学校・教育委員会とサポーターを相互に紹介するマッチングサービスの開始にあたり、東京都立大学の学内で、事業の周知、窓口の案内を実施	管理部
	東京都立八王子西特別支援学校外部専門員	都立大教員が外部専門員として、都立八王子西特別支援学校の教員に対して、指導及び助言、指導計画作成等に関する相談等を実施	健康福祉学部
	東京都立いの木特別支援学校学校運営連絡協議会協議委員兼評価委員	都立いの木特別支援学校の学校運営への助言、課題や改善点などに関する意見・提言を実施	管理部
	高校生探求ゼミナール	高い専門性と深い研究経験を持つ都立大学教員の指導のもと、各分野のテーマについて生徒自らが課題を設定し、調査研究・発表・討論を通じて、情報を収集し整理する能力や、論理的かつ建設的に議論する能力、プレゼンテーション能力を向上させることに寄与	管理部
東京消防庁	火災予防審議会委員	火災予防審議会委員に都立大教員が就任	都市環境学部
その他 13件			

土地・建物

◆**南大沢キャンパス**（〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1）
土地面積 428,041.26㎡

区 分	延床面積（㎡）
本部棟、人文社会学部、法学部、経済経営学部（本部棟、3・4・5号館、91年館 等）	29,148.63
理学部、都市環境学部、その他（8・9・11・12号館、プロジェクト研究棟、フロンティア研究棟）	59,814.06
理系実験棟（10号館、カフェテリア等）	10,565.76
学生サポートセンター、その他（1・2・6・7号館、講堂、AV棟 等）	26,490.49
学生ホール、その他（学生ホール、図書館、情報処理施設、牧野標本館、国際交流会館 等）	26,084.91
体育館等（体育館、学生寮 等）	14,812.47
合 計	166,916.32

◆**日野キャンパス**（〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6）
土地面積 62,439.61㎡

区 分	延床面積（㎡）
1号館（RC 2階）	4,036.85
2号館（SRC 9階）	15,693.19
3号館（RC 2階）	1,576.95
4・5号館（SRC 4階）	8,010.64
6号館（RC 4階）	10,044.66
体育館（RC・一部S 一部2階）	1,794.77
大学会館（RC・一部S 3階）	2,171.29
その他	439.61
合 計	43,767.96

◆**荒川キャンパス**（〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10）
土地面積 34,999.97㎡（テニスコート 1,501.00㎡含む）

区 分	延床面積（㎡）
校舎	18,805.61
管理棟及び厚生棟	3,115.79
図書館棟	3,673.49
体育館	1,677.66
講堂	875.62
付帯施設	1,487.10
合 計	29,635.27

◆**晴海キャンパス**（〒104-0053 東京都中央区晴海1-2-2）
土地面積 1,687.30㎡

区 分	延床面積（㎡）
法科大学院（都立晴海総合高校との合築）	9,869.02

◆**飯田橋キャンパス**（〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館3階）

区 分	延床面積（㎡）
オープンユニバーシティ（東京区政会館3階）	873.83

◆**丸の内サテライトキャンパス**（〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル18階）

区 分	延床面積（㎡）
経営学研究科（丸の内永楽ビル18階）	1,394.64

◆**小笠原研究施設**（〒100-2101 東京都小笠原村父島宮之浜道1-3）
土地面積 771.45㎡

区 分	延床面積（㎡）
小笠原研究施設	546.73

キャンパスマップ

南大沢キャンパス

●人文社会学部 ●法学部 ●経済経営学部 ●理学部 ●都市環境学部 ●システムデザイン学部（主に1・2年次） ●健康福祉学部（1年次）
●人文科学研究科 ●法学政治学研究科 ●経営学研究科 ●理学研究科 ●都市環境科学研究科 ●人間健康科学研究科（ヘルスプロモーションサイ
エンス学域） ●東京都立大学プレミアム・カレッジ

- 1 1号館 教室棟
東京都立大学管理部（教務課・学生課）
- 2 講堂
- 3 2号館 都市環境学部 都市政策科学科、東京都立大学プレミアム・カレッジ事務局
- 4 91年館 学芸員養成課程展示室
- 5 3号館 経済経営学部
- 6 4号館 法学部
- 7 5号館 人文社会学部
- 8 6号館 教室棟
- 9 本部棟 総務部、東京都立大学管理部（アドミッション・センター（入試課））
- 10 7号館 東京都立大学管理部（キャリア支援課、健康支援センター（学生相談室・保健室））
- 11 インフォメーションギャラリー
- 12 AV棟
- 13 生協購買書籍部
- 14 学生ホール

- 15 生協食堂
- 16 図書館本館 ダイバーシティ推進室
- 17 情報処理施設
- 18 牧野標本館
- 19 牧野標本館 別館 TMUギャラリー
- 20 国際交流会館
- 21 RI研究施設
- 22 飼育棟
- 23 8号館 理学部／都市環境学部
- 24 9号館 理学部／都市環境学部
- 25 11号館 教室棟
- 26 12号館 教室棟
- 27 フロンティア研究棟
- 28 10号館 実験棟
- 29 環境保全施設
- 30 総合飼育実験棟
- 31 栄養・食品科学／生体機械工学研究棟

- 32 カフェテリア館
- 33 温室・実験圃場
- 34 13号館
- 35 プロジェクト研究棟
- 36 多目的運動場
- 37 学生寮
- 38 陸上競技場
- 39 屋内温水プール
- 40 体育館
- 41 サークル棟
- 42 テニスコート
- 43 球技場
- 44 和・洋弓場
- 45 野球場



2 講堂前



11 インフォメーションギャラリー前 大学広場



16 図書館本館



25 11号館 教室棟前



27 フロンティア研究棟



日野キャンパス

●システムデザイン学部（主に3・4年次）
●システムデザイン研究科

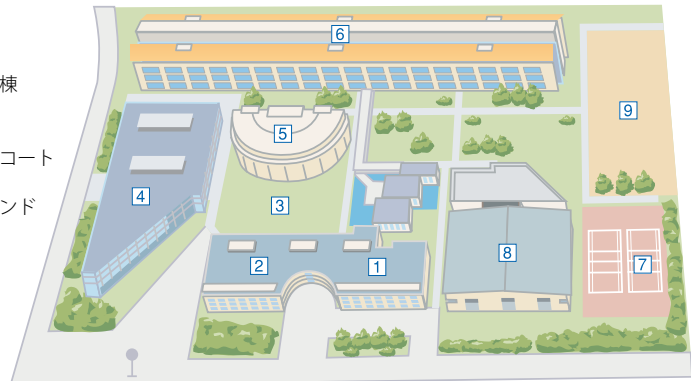
- 1 1号館
- 2 2号館
- 3 3号館
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 6号館
- 7 大会館
- 8 体育館
- 9 フットサル・テニス兼用コート



荒川キャンパス

●健康福祉学部（2～4年次）
●助産学専攻科
●人間健康科学研究科（ヘルスプロモーションサイエンス学域を除く）

- 1 厚生棟
- 2 管理棟
- 3 中庭
- 4 図書館棟
- 5 講堂
- 6 校舎棟
- 7 テニスコート
- 8 体育館
- 9 グラウンド



都立大荒川キャンパス前

本学の使命

東京都立産業技術大学院大学は、2006年4月に開学し、その使命は1番目に首都東京の産業技術発展を担う高度専門職人材の養成、2番目に都内の隅々までの知の濁流による社会貢献、3番目に現場に即した問題解決型研究開発の推進があります。

社会人リカレント教育の推進

社会人のリカレント・リスキリング教育のニーズが高いため本学の入学生の80%強が社会人であり、その属性は大手企業やスタートアップを目指す方々など多様に富んでいます。また、社会人が学びやすいDX教育システム、履修制度（AIIT単位バンク制度、長期履修制度等）、10月入学、ハイフレックス型授業等を提供しています。

本学は、産業技術専攻内に、起業・創業・事業承継などを通して新しい産業を創り出す人材を養成する事業設計工学コース、情報システムの開発の上流工程で活躍できる各種IT高度専門技術者を養成する情報アーキテクチャコース、感性と機能の統合デザイナーとしてイノベーションをもたらす人材を養成する創造技術コースの3つのコースを設け、それぞれ事業設計工学修士（専門職）、情報システム学修士（専門職）、創造技術修士（専門職）の学位を授与するカリキュラムを提供しています。

問題解決型研究の推進

本学には、IT、サービス科学、AI、技術経営、医療福祉情報、社会科学など多様な分野に属する複数の研究所があり、いずれも、社会・都市問題または価値創造に関して現場に即した問題解決型の研究開発を推進しており、国内外での研究発表による知の普及活動のみならず、社会実装の活動も進めています。

シニアの起業・創業支援の教育

「次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための高度人材養成プログラム」（文部科学省事業）の成果を生かして、2018年度から東京都の支援を得て「AIITシニアスタートアッププログラム（2022年度から「東京テックイノベーションプログラム」へリニューアル）」を実施しています。本プログラムは、地域にとらわれることなく、ITやデザインエンジニアリングを活用し、生産性・付加価値を高めるための事業を起業・開発できる

設置目的

東京都立産業技術大学院大学は、専門的知識と体系化された技術ノウハウを活用して、新たな価値を創造し、産業の活性化に資する意欲と能力を持つ高度専門技術者の育成を目的としています。



東京都立産業技術大学院大学
学長 橋本 洋志

シニア人材を養成することを目的としています。

大学のDX化の拠点

2021年3月11日に、本学が申請した取組『技能教育高度化のための共創的スキル学習プラットフォームの構築』が、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の取組②「学びの質の向上」に公立大学唯一の実施機関として採択されました。

本取組の目的は、技能教育高度化のための共創的スキル学習プラットフォームの構築を図ることで、大学院教育のDX推進を行い、エンジニアリング、プロダクトデザイン、および産業技術分野などで活躍する人材を育成する教育を中心に、我が国におけるDX化教育およびDX化リスキリングの拠点となることを目指します。

グローバル活動

ASEAN10か国の大学と日本、中国、韓国、インドの大学からなるAsia Professional Education Network（APEN）の幹事校としてグローバル人材の養成について活動しています。

2023年度にはAPENワークショップと理事会をマレーシアで実施し、アジアにおける教育研究の連携を推進することとしました。

トピックス

社会にベネフィットをもたらすシニア人材マネジメントのためのAIIT型リカレントプログラム

2023年度に採択された文部科学省の成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業として、「社会にベネフィットをもたらすシニア人材マネジメントのためのAIIT型リカレントプログラム」を開講しました。

本学が進めてきた社会人リカレント教育とDX教育システムの知見を効果的に融合し、シニアの特性に合わせた仕事や業務、経営やマネジメント・サービスサイエンスに関する内容、またそれらを踏まえた現場対応力について、実際の本科の授業と新たな本プログラム用特別授業を提供しました。



東京テックイノベーションプログラム

起業・創業を支援する教育プログラムとして、「東京テックイノベーションプログラム」を開講しました。人生100年時代にふさわしい起業の在り方やその方法を、講義や演習を通じて学ぶことができるプログラムで、2024年度は10月から開講する予定です。

本プログラムでは東京都、産業界等の協力を得て、起業や事業承継に必要な知識及びスキルを短期間で修得し、革新的なビジネスを生み出す力を養成します。講義、現地実習、演習、グループワーク、アクティブラーニング等が組み込まれた実践的なプログラムにより、大学院教育（修士課程）レベルでの学び直し（リスキリング）を推進します。



APEN理事会及び総会のハイブリッド開催

2023年10月30日と31日の両日に、アジア高度専門職人材育成ネットワーク（APEN）の第13回理事会及び総会が、現地マレーシアでの対面形式とWEB会議システムを併用したハイブリット形式にて開催されました。理事会では、教育連携に関する議論や、各理事の進捗報告やデジタル人材育成に関する活動について話し合われました。総会では、各国からの出席者がテーマに沿って発表・討論を行いました。



写真で見る産技大の取組

■AIIT PBLプロジェクト成果発表会

AIITのPBLとは、Project Based Learningという実務体験型の教育手法であり、課題を達成する過程で真に役立つ実践的なスキル及びコンピテンシーを身につけることができるものです。AIIT PBLプロジェクト成果発表会では、学生が1年間かけて取り組んだプロジェクトの成果をプレゼンテーションします。

2023年度は対面及びオンラインで開催し、一部発表のダイジェスト動画をYouTube配信として、学外を含めた一般に広く公開しています。



■AIITフォーラムの実施

学内外の方が自由に参加できる公開講座として「AIITフォーラム」を開催しています。ここでは、本学の専門分野である「ICT分野」、「ものづくり・デザイン分野」、「起業・新規事業創出・事業承継分野」における最新のトピックス等を取り上げ、本学教員だけでなく、企業でご活躍の方や専門家を講師としてお招きし、開けた学びの場を提供しています。

2023年度は、YouTubeによるオンデマンド配信で計5回実施し、多くの方々に参加いただきました。



■第36回運営諮問会議の開催

本学では、産業界のニーズを把握し、教育内容に反映させること、また産業界と連携し効果的な教育研究を実践するために、本学が人材育成を行う産業分野の専門家、企業の経営者等の学外委員を中心メンバーとする運営諮問会議を設置しています。2024年2月29日には、対面形式にて第36回運営諮問会議が開催され、今年度の諮問「産技大の持続可能な成長に向けてのブランディング等について」に対する答申が、運営諮問会議委員長である日本アイ・ビー・エム株式会社の橋本名誉相談役から本学学長へ手渡されました。



産業技術研究科 産業技術専攻 事業設計工学コース

事業設計工学コースでは、「産業技術分野のアントレプレナー、経営を科学できる産業技術リーダー、新事業の成功確度を担保できる経営者、飛躍的事業承継人材、事業確度を高める価値創造できる事業イノベーター」であり、起業・創業・事業承継などを通して新しい産業を創り出す高度専門職業人である「事業イノベーター」を育成します。1年次は、どのように価値あるビジネスをつくりだすかについて、基本的な考え方と関連する方法論を中心に科目を配置しています。2年次は、この分野の業務遂行能力（コンピテンシー）の獲得を目的としてPBL（Project Based Learning）型科目である事業設計工学特別演習1 および同演習2を配置しています。経験する環境を与え、修得した知識を適切に使いこなせるようになること、及び業務遂行能力を養成する場を提供します。

産業技術研究科 産業技術専攻 情報アーキテクチャコース

情報アーキテクチャコースでは各種の情報システム開発のためのIT高度専門職技術者である「情報システムアーキテクト」を育成します。当コースでは、プログラミングからマネジメントまで、IT関連領域の知識体系を広範に網羅する講義・演習型科目を開講しています。当コースの学生は自らの経験及び今後のキャリアプラン等から設計した自分だけのカリキュラムにしたがって1年次に「情報システムアーキテクトに必要とされる知識・スキル」を修得します。2年次のPBL(Project Based Learning) 型科目では、実際の業務を想定したプロジェクトを当コース独自のPBL教育メソッドにしたがって実行することで、1年次で学んだ知識・スキルの活用経験を蓄積すると同時に、「情報システムアーキテクトに必要とされる業務遂行能力（コンピテンシー）」を修得することで、各種の対象領域で活躍できる「情報システムアーキテクト」を目指します。

産業技術研究科 産業技術専攻 創造技術コース

創造技術コースでは感性と機能の統合デザイナーとしてイノベーションをもたらす「ものづくりアーキテクト」を育成します。1年次のカリキュラムは業務遂行に必要な基本知識を修得する創造技術基礎科目群、選択必修科目群、産業技術研究科科目群及びヘルスケア・デザイン科目群、機能創成を実現するプロダクト・イノベーション科目群、感性創成を実現するインダストリアル・デザイン科目群、産業に役立つ人口知能や組込み技術などを学ぶデジタル技術科目群から構成されています。2年次のカリキュラムではPBL（Project Based Learning）型科目を中心として、「プロダクト・イノベーション分野ならびにデジタル技術分野」と「インダストリアル・デザイン分野」のそれぞれについて、分野横断的に連携した教育を実施し、それぞれの分野に軸足を置きながら、「総合的なものづくり」を実践できる「ものづくりアーキテクト」を育成します。

オープンインスティテュート

大学院の教育研究成果を広く社会に還元するとともに、地域社会と産業界の発展のために実践的な活動を遂行する組織として、オープンインスティテュート（OPI：Open Institute）を設置しています。

OPIでは、一般の方々を対象とした公開講座のほか、企業の経営層・技術者や学生を対象とした実践的な専門講座、セミナー、フォーラム、研究会等を開催しています。また、近隣自治体との連携事業や自治体職員向け研修、産学公連携を希望する企業との受託・共同研究や技術協力も実施しています。

附属図書館

授業に即した専門的な資料に加え、実務に役立つビジネス関係の図書も豊富に揃えています。

〔蔵書（製本雑誌を含む）〕			（単位：冊）
和書	洋書	合計	
19,974	6,580	26,554	

※2024年3月31日現在

（2024年5月1日現在）

■現員及び定員

(1) 現員総数 （単位：人）

大学院
230(42)

※（ ）内は女性で内数

(2) 内訳 （単位：人）

区 分	専門職学位課程				
	定 員		現 員		
	入学	収容	1 年	2 年	合計
産業技術専攻	100	200	100(16)	130(26)	230(42)

※（ ）内は女性で内数

■科目等履修生等の状況 （単位：人）

科目等履修生	研究生	その他	研修員	合 計
58	0	0	1	59

※その他は特別科目等履修生

■外国人留学生

(1) 留学生 （単位：人）

大学院
4

(2) 国・地域別留学生数 （単位：人）

国・地域	国費	私費	合計
中華人民共和国	0	4	4
合 計	0	4	4

（2024年度入試結果）

（単位：人）

区 分	募集人員	志願者数	入学者数
事業設計工学コース	100	19	16
情報アーキテクチャコース		79	43
創造技術コース		50	39

※2023年10月入学者および2024年4月入学者の合計

※入学者数には、第2志望合格を含む。

（2024年5月1日現在）

（単位：人）

区 分	修了者総数		現職	就職・転職	就職希望	その他	不明
事業設計工学コース	新卒者	0	0	0	0	0	0
	有職者	17	12	3	1	1	0
	既卒者	0	0	0	0	0	0
	合 計	17	12	3	1	1	0
情報アーキテクチャコース	新卒者	1	0	1	0	0	0
	有職者	50	29	15	0	5	1
	既卒者	0	0	0	0	0	0
	合 計	51	29	16	0	5	1
創造技術コース	新卒者	8	0	8	0	0	0
	有職者	20	10	3	2	5	0
	既卒者	2	0	1	0	1	0
	合 計	30	10	12	2	6	0

研 究

■2024年度科学研究費助成事業採択状況（2024年4月内定時点）

（単位：件、千円）

研究種目		継続	件数			合計	補助金		合計
			申請数	採択数	採択率（%）		直接経費	間接経費	
新学術領域研究		0	0	0	—	0	0	0	0
学術変革領域研究	A	0	0	0	—	0	0	0	0
	B	0	0	0	—	0	0	0	0
基盤研究	S	0	0	0	—	0	0	0	0
	A	0	0	0	—	0	0	0	0
	B	0	4	1	25.0	1	4,400	1,320	5,720
	C	2	13	0	0.0	2	1,300	390	1,690
挑戦的研究※1	開拓	0	(2)	—	—	0	0	0	0
	萌芽	0	(2)	—	—	0	0	0	0
若手研究		2	3	1	33.3	3	2,400	720	3,120
研究活動スタート支援※1		0	(0)	—	—	0	0	0	0
特別推進研究		0	0	0	—	0	0	0	0
研究成果公開促進費		0	0	0	—	0	0	0	0
合 計※2		4	20	2	10.0	6	8,100	2,430	10,530

※1 審査中のため、申請数は（ ）付とし、採択数の記載なし。

※2 審査中の挑戦的研究（開拓・萌芽）及び研究活動スタート支援は申請数の合計に含まない。

■外部資金受入状況（2023年度）

（単位：件、千円）

区分	件数	総額
共同研究	2	1,956
受託研究	4	5,809
提案公募型研究	5	14,798
特定研究寄附金	1	396
合 計	12	22,959

■間接経費（2023年度）

（単位：千円）

区分	金額
科学研究費助成事業	2,280
提案公募型研究	4,440
その他	0
合 計	6,720

※分担金含む

■客員研究員受入人数（2024年5月1日現在）

人数	28
----	----

東京都との連携実績

（2023年度実績）

局名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
子供政策推進室	子供・子育てメンター	子供や子育て世帯の不安や悩みに対し、SNSで相談できる「バーチャルな居場所」づくり等を推進するため、子供・子育て家庭の孤立孤独を予防、解消するための相談システムに係る要件定義支援委託の技術審査委員会に係る技術審査委員に産技大教員が就任	産業技術専攻
総務局	東京リカレントプロジェクト	社会人・高齢者の学び直しやキャリアアップ・キャリアチェンジにつながる教育コンテンツ等を掲載したポータルサイト「東京リカレントナビ」にて都立大学・産技大等の公開講座等を掲載。また、都立大学と連携し学び直しにつながる啓発動画（ミニッツ動画）を配信	産業技術専攻
	東京都地域防災計画のIoT化による防災力向上	地域防災計画や各種関連計画を効率的に修正する仕組みを構築するとともに、地域防災計画内の情報を様々な視点から検索・抽出できるようインターネット上に公開する研究を実施	産業技術専攻
デジタルサービス局	サイバーセキュリティ技術支援委託技術審査委員会	サイバーセキュリティ技術支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	第二期都区市町村セキュリティクラウド運営等支援委託技術審査委員会	第二期都区市町村セキュリティクラウド運営等支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	システム評価支援業務委託に係る技術審査委員会	システム評価支援業務委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	実践的サイバーセキュリティインシデント対応訓練支援委託技術審査委員会	実践的サイバーセキュリティインシデント対応訓練支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	物理的セキュリティ対策評価及び規程策定支援委託技術審査委員会	物理的セキュリティ対策評価及び規程策定支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	侵入テスト業務委託技術審査委員会	侵入テスト業務委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻

局名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
デジタルサービス局	インシデント管理システム構築業務委託技術審査委員会	インシデント管理システム構築業務委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	偽サイト監視業務委託技術審査委員会	偽サイト監視業務委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
	構成管理システム要件定義支援委託技術審査委員会	構成管理システム要件定義支援委託において、受託者を選定する技術審査委員会特別委員（学識経験者）に産技大教員が就任	産業技術専攻
産業労働局	東京都ベンチャー技術大賞	中小企業の製品・技術、サービスの開発を促進するため、コンペティションを実施し、革新的で将来性のある製品・技術、サービスに対し、開発・販売等奨励金を交付する審査会の委員に産技大教員が就任	産業技術専攻
	OPI企画経営委員会	オープンインスティテュート（OPI）活動に係るOPI企画経営委員会の学外委員として東京都立産業技術研究センター職員を招聘	東京都立産業技術大学院大学
	ウェブリニューアル技術審査会委員	東京都立産業技術研究センターのウェブサイトリニューアルに係る業者選定の技術審査会における外部委員に産技大教職員が就任	産業技術専攻
	TIRIクロスミーティング	中小企業に、東京都立産業技術研究センターおよび連携機関の技術シーズを発表するマッチングイベントにおいて、産技大教員が発表を実施（発表テーマ：「スクラム型開発疑似体験ワークショップの実践事例」）	産業技術専攻
	東京テックイノベーションプログラム	東京都立産業技術研究センターに対し、プログラム受講生への事業説明と施設見学を依頼	産業技術専攻

土地・建物

◆品川シーサイドキャンパス（〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40）

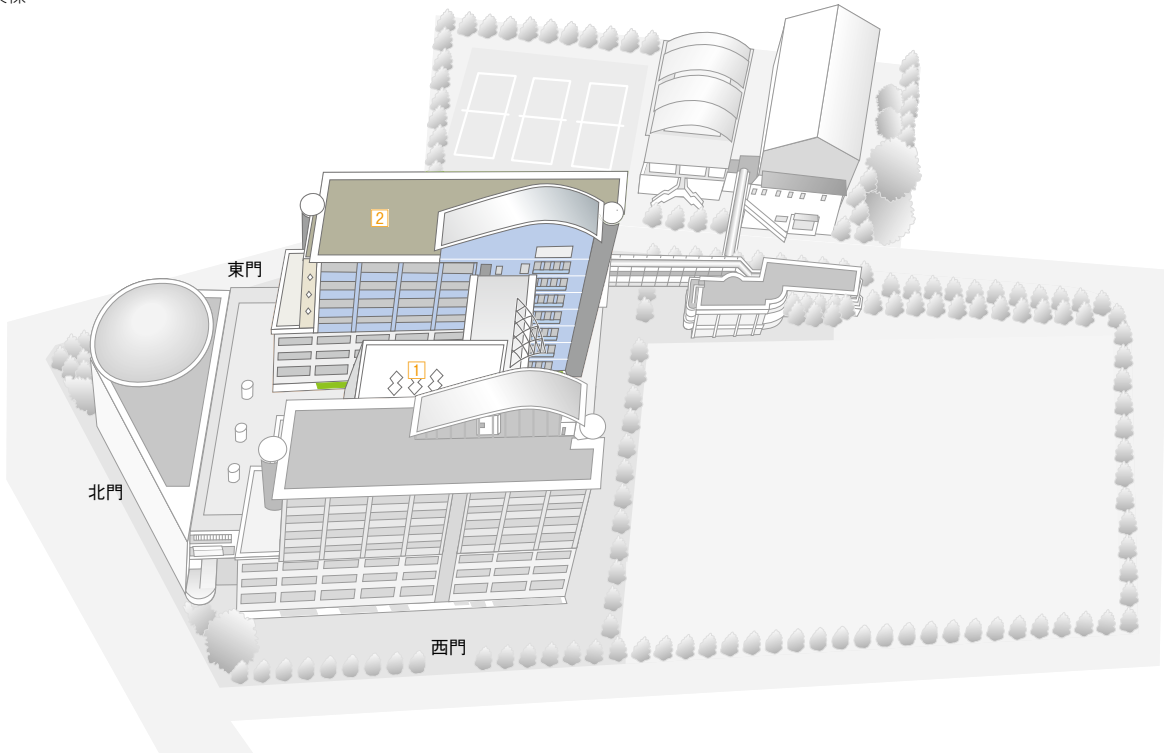
土地面積37,134.15㎡（高専品川キャンパス共用）

区 分	延床面積（㎡）
東京都立産業技術大学院大学（高専品川キャンパス共用）	4,625.88

キャンパスマップ

品川シーサイドキャンパス

- 1 中央棟
- 2 東棟



高専とは

1950年代半ばから始まった我が国の目覚ましい経済成長を支え、科学・技術の更なる進歩に対応できる技術者育成という産業界からの強い要請に応え、1962年に12の国立高専と共に、東京都立工業高等専門学校、東京都立航空工業高等専門学校という2つの公立高専が設立されました。高等専門学校制度は2022年に60周年を迎え、現在では国立51校、公立3校、私立4校のあわせて58校が設置されています。高等専門学校の本科卒業生は準学士と称することができ、さらに専攻科2年を修了すると、大学改革支援・学位授与機構の審査により学士（工学）の学位を取得できます。

産技高専の技術者育成

東京都立産業技術高等専門学校は、科学技術の高度化や複合化に応えるため、先に述べた2つの都立高等専門学校を発展的に統合し、8つの特徴的な教育コースにより、専門性の高い実践的な技術者育成を目指して、2006年に新設されました。

科学技術の急速な発展による高度化やボーダーレス化が進む産業界からは、より高度な専門知識と技術・技能を兼ね備え、国際的に活躍できる中核技術者が求められています。こうした状況を踏まえ、本校は東京において一貫したものづくり教育を担う高等教育機関として、都民や産業界のニーズに的確に応える技術者を育成するための、多様な取組を行っています。

新たなものづくりを牽引する技術者の育成

全校的な取組として、国際的に通用する工学教育プログラムの継続的な改善による質の保証が挙げられます。また、本校から巣立つ学生たちが臆することなく世界で活躍するその第一歩として、様々な国際交流事業、海外体験プログラムを提供しています。

コースの特徴を生かした取組として、2016年度には産業界からの強い要望に応えるべく、品川キャンパスの情報セキュリティ技術者育成プログラム、荒川キャンパスの航空技従者育成プログラムという2つの実践的技術



東京都立産業技術高等専門学校
校長 吉澤 昌純

者育成プログラムをスタートさせました。これらプログラムの修了生はそれぞれ数十人を数え、既に日本を代表する情報セキュリティ関連企業や航空関連企業において活躍し始めています。更に2021年度には品川キャンパスにコンピュータやAIを積極的に活用したデジタルものづくりを学ぶAIスマート工学コースと、次世代の情報産業基盤を支える人材を育成する情報システム工学コースを設置しました。

他にも荒川キャンパスではIoTとAI技術の社会実装を学ぶ、コース横断型の未来工学教育プログラム、医療現場における課題発見・解決型の医工連携共同研究プログラム、医用機器分野の技術者向けリカレント教育を行う医工連携ビジネスプログラムという3プログラムからなる医工連携 教育・研究プロジェクトを提供しており、2023年度には未来工学教育プログラムの第一期生を輩出しました。また品川キャンパスでは総合工場での実験実習にデジタル技術を導入し、世代間の技能伝承を可能にするDX化にも取り組んでいます。更に2023年度から、スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」がスタートしています。

本校はこうした取組を着実に進め、都民や産業界のニーズに的確に応えた実践的な中核技術者、新たなものづくりを牽引する技術者を育成することにより、社会に貢献しています。

副校長紹介



柴崎 年彦 副校長
兼図書館長
事務分担：教育改革に関すること、国際化に関すること、広報に関すること
任期：2024年4月1日～2026年3月31日
専門・研究分野：電磁界理論、マイクロ波・ミリ波回路

設置目的

東京都立産業技術高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とし、首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成を使命としています。

ものづくり工学科（本科）

ものづくり工学科の教育課程の年限は5年で、1年次はものづくり工学の基礎全般を習得するためにコース共通混成クラスで学び、2年次より8つの教育コースに分かれます。本科を卒業すると、準学士と称することができます。

創造工学専攻（専攻科）

本科5年間の教育を終えた後、専攻科でさらに2年間、高度な専門知識及び技術を身につけることができます。専攻科は機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、情報工学プログラム、創造システム工学プログラムの4プログラムに分かれており、いずれも本科4、5年次からの継続教育プログラムとして2021年にJABEE（一般社団法人日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。また、本校の専攻科は大学改革支援・学位授与機構の特例適用専攻科の認定も受けており、修了時には同機構への学位審査一括申請により学士（工学）の学位が取得できます。

トピックス

●アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2023にて高専ロボコン研究部（品川キャンパス）、ロボット研究同好会（荒川キャンパス）が大活躍！

2023年10月15日（日）、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023関東甲信越地区大会が駒沢オリンピック公園屋内球技場で開催されました。

品川、荒川の両キャンパスからそれぞれ2チームが出場し、品川Aチーム「磨匠」が特別賞（株式会社デンソー）を受賞、また荒川Bチーム「MOGITORI X モギトリエックス」は準優勝、そしてアイデア賞を受賞した荒川Aチーム「Fruits full 2 フルーツフル ツー」は、審査員の推薦により全国大会に出場することができました。

2023年11月26日（日）に両国国技館で開催されたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023全国大会では、「Fruits full 2」は惜しくも一回戦敗退となりましたが、車輪を中心に寄せロープを踏み越えていくという独創的なアイデアにチャレンジしたことが評価され、本田技研工業株式会社から特別賞を授与されました。



●都立産技高専Team ЯTRが「第45回鳥人間コンテスト2023」滑空機部門で5位！

荒川キャンパスの人力飛行機研究部（チーム名：都立産技高専Team ЯTR）が「第45回鳥人間コンテスト2023」（7月29、30日、滋賀県彦根市にて開催）の滑空機部門に出場しました。

パイロットは医療福祉工学コース本科4年生 鈴木悠太さんが務め、今回の出場にあたり、Team ЯTRは実用に供するまでの開発期間18年というフライトシミュレータを操縦訓練に導入しました。これは数ある鳥人間用シミュレータの中でも、特にコックピット視界の再現が群を抜くものであり、シミュレータを体験した当チーム歴代パイロットの全員が「本当に、こういう景色だった」と評する代物です。鈴木さんはこのシミュレータで、湖上の風向きや風速をこまめに変化させ、およそ1,700回もの訓練飛行を行い、根拠あるフライトプランを立てて本番に挑みました。

大会当日は、シミュレータ訓練と部員たちの丁寧な機体製作とが相まって、スムーズにフライトすることができ、また訓練を生かした攻めのフライトで285.90mを滑空、16機中第5位という成績を残しました。

鳥人間コンテストへの出場は今回が20回目になりますが、Team ЯTRは今後も様々な工夫を凝らし、いずれは上位入賞や優勝を視野に入れた活動を続けていきます。



●モンゴルコーセンの学生とロボカップ研究部の学生が交流しました！

2023年8月24日に、本校品川キャンパスにおいてモンゴル国のモンゴル工業技術大学付属モンゴルコーセンの学生8名とロボカップ研究部の学生が交流事業（ロボットプログラミング）を行いました。これは、品川区で実施している「モンゴル高専コンピューター工学科等短期交流事業」の一環として、両国の高専生同士の交流を目的として実施されたものです。

本校では、スマートスタジオで、LEGO SPIKEを用いたロボットプログラミング実習を行い、本校学生と一緒に課題に取り組み、競技も行いました。午後からは、モンゴルコーセンのセルゲレン校長も来校され、実習の様子をご覧いただきました。



写真で見る高専の取組

■地域貢献・地域交流

本校の教育資源や設備を活用したオープンカレッジ（OPC）講座、理科・技術教育サポーター事業等を通じて、近隣地域の方々との交流を図っています。また、25歳以下の生徒・学生向けの勉強会や社会人向けのスキルアップ講座、公立中学校教員向け情報セキュリティ研修など、情報セキュリティ教育に関する数多くの学びの機会を創出し、受講された方々から高い評価を得ています。



■運営協力者会議

2010年10月、本校の諸活動について、学校外から広く意見を徴収し、産業界のニーズに合っているかを定期的に検証するとともに、学校運営に活かしていくため、運営協力者会議を設置しました。この会議の役割は、校長から提起する問題に対する提言と本校の諸活動（教育・研究・産学連携・地域貢献・校務運営等）に対する評価です。会議の構成員は、企業の経営者や管理職、行政関係者、教育関係の有識者の10名程度としています。



■学生の課外活動

本校の学生は、独自の高等専門学校体育大会のほか、高等学校体育大会にも参加しています。また、高専ロボコン、ロボカップジュニア、プログラミングコンテスト、デザインコンペティションなど高専ならではの様々な技術系大会、競技会に出場しており、荒川キャンパスでは専門性を活かした鳥人間コンテストにも挑戦しています。

■附属図書館

蔵書数 (単位：冊)

区分	和書	洋書	合 計
高専品川キャンパス	72,671	4,128	76,799
高専荒川キャンパス	64,964	5,743	70,707
合 計	137,635	9,871	147,506

※2024年5月1日現在

沿 革

	1930年代	1940年代	1950年代	1960～1970年代	1980年以降
都立工業高等専門学校	開校 東京府立電機工業学校 (1935年)	校名変更 東京都立電機工業学校 (1943年)	開校 東京都立飲洲新制高等学校 (1948年)	校名変更 東京都立大学附属工業高等学校 (1950年)	校名変更 東京都立工業短期大学附属工業高等学校 (1957年)
				開校 東京都立工業電気工科学科1学級増 (1962年)	開校 東京都立工業電気工科学科1学級増 (1973年)
					新学科開設 生産システム工学科、電子情報工科学科各1学級 (1996年)
					閉校 2010年3月
					開校 東京都立産業技術高等専門学校（ものづくり工学科8コース・専攻科1専攻4コース） (2006年)
					移管 公立大学法人首都大学東京 (2008年～2019年)
					新設 東京都立大学法人 (2020年～)
					専攻科：産技大接続コース (2009年) ※2014年3月まで
都立航空工業高等専門学校	開校 東京府立航空工業学校 (1938年)	校名変更 東京都立航空工業学校 (1943年)	開校 東京都立城北工業高等学校 (1948年)	校名変更 東京都立航空工業高等学校 (1955年)	開校 東京都立航空工業高等専門学校 (1962年)
					学科改組 航空・機械・電子工学科 (1989年)
					閉校 2010年3月

学生の状況

(2024年5月1日現在)

■現員及び定員

(1) 現員総数 (単位：人)

本科	専攻科	合計
1,573 (228)	72 (6)	1,645 (234)

※（ ）内は女性で内数

(2) 内訳

(単位：人)

本 科 (ものづくり工学科)	定員		学 年					
	入学	収容	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	合計
品川キャンパス	160	800	155 (24)	168 (21)	171 (21)	146 (24)	138 (19)	778 (109)
荒川キャンパス	160	800	169 (30)	161 (26)	151 (19)	153 (20)	161 (24)	795 (119)
合 計	320	1,600	324 (54)	329 (47)	322 (40)	299 (44)	299 (43)	1,573 (228)
専攻科(創造工学専攻)	32	64	36 (3)	36 (3)	—	—	—	72 (6)

※（ ）内は女性で内数

入試状況

(2024年度入試結果)

(単位：人)

本 科 (ものづくり工学科)	推薦による選抜				学力による選抜（一般）				入学定員	入学者数
	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数		
品川キャンパス	96	75	52	52	108	217	138	103	160	155
荒川キャンパス		63	44	44	116	161	137	122	160	166
合 計	96	138	96	96	224	378	275	225	320	321
専攻科(創造工学専攻)	25	15	15	15	17	78	54	21	32	36

進路状況

(2024年5月1日現在)

(単位：人)

本 科	卒業生総数	就職	進学			その他
			専攻科	東京都立大学	他大学・専門学校等	
ものづくり工学科	307	173	36	12	74	12

(単位：人)

専攻科	修了者総数	就職	進学			その他
			東京都立産業技術大学院大学	東京都立大学大学院	他大学院等	
創造工学専攻	42	26	0	0	15	1

研 究

■2024年度科学研究費助成事業採択状況（2024年4月内定時点）

(単位：件、千円)

研究種目	継続	件数				補助金		
		申請数	新規		合計	直接経費	間接経費	合計
			採択数	採択率（％）				
新学術領域研究		0	0	0	0	0	0	0
学術変革領域研究	A	0	0	0	0	0	0	0
	B	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究	S	0	0	0	0	0	0	0
	A	0	0	0	0	0	0	0
	B	0	0	0	0	0	0	0
	C	4	29	3	7	7,000	2,100	9,100
挑戦的研究※1	開拓	0	(0)	—	0	0	0	0
	萌芽	0	(2)	—	0	0	0	0
若手研究		3	2	0	3	1,750	525	2,275
研究活動スタート支援※1		0	(0)	—	0	0	0	0
特別推進研究		0	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費		0	1	1	1	490	0	490
合 計※2		7	32	4	11	9,240	2,625	11,865

※1 審査中のため、申請数は（ ）付とし、採択数の記載なし。

※2 審査中の挑戦的研究（開拓・萌芽）及び研究活動スタート支援は申請数の合計に含まない。

外部資金受入状況（2023年度）

(単位：件、千円)

区分	件数	総額
共同研究	7	4,242
受託研究	1	400
提案公募型研究	0	0
特定研究寄附金	6	4,400
合 計	14	9,042

間接経費（2023年度）

(単位：千円)

区分	総額
科学研究費助成事業	3,606
提案公募型研究	0
その他	0
合 計	3,606

※分担金含む

客員研究員受入人数（2024年5月1日現在）

人数	0
----	---

東京都との連携実績

(2023年度実績)

東京都立産業技術高等専門学校

局 名	事 業 名	事 業 概 要	教員所属・関連組織
総務局	東京リカレントプロジェクト	社会人・高齢者の学び直しやキャリアアップ・キャリアチェンジにつながる教育コンテンツ等を掲載したポータルサイト「東京リカレントナビ」にて都立大学・産技大等の公開講座等を掲載。また、都立大学と連携し学び直しにつながる啓発動画（ミニッツ動画）を配信	ものづくり工学科
警視庁	品川区サイバーセキュリティに関する協定締結	品川区、東京商工会議所品川支部、警視庁品川警察署、警視庁大井警察署、警視庁大崎警察署、警視庁荏原警察署、東京都公立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の間で、品川区サイバーセキュリティに関する協定を締結し、締結者が連携し、東京中小企業サイバーセキュリティ支援ネットワーク（通称、Tcyss）等を活用した効果的なサイバーセキュリティ対策を推進	ものづくり工学科
産業労働局	インターンシップ生の派遣	インターンシップ生として学生1名を派遣	東京都立産業技術高等専門学校（荒川）
			その他 1件

土地・建物

高専品川キャンパス（〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40）

土地面積 37,134.15㎡

区 分	延床面積（㎡）
東京都立産業技術高等専門学校（品川キャンパス） （校舎、体育棟、プール棟、体育館）	34,139.54

高専荒川キャンパス（〒116-8523 東京都荒川区南千住 8-17-1）

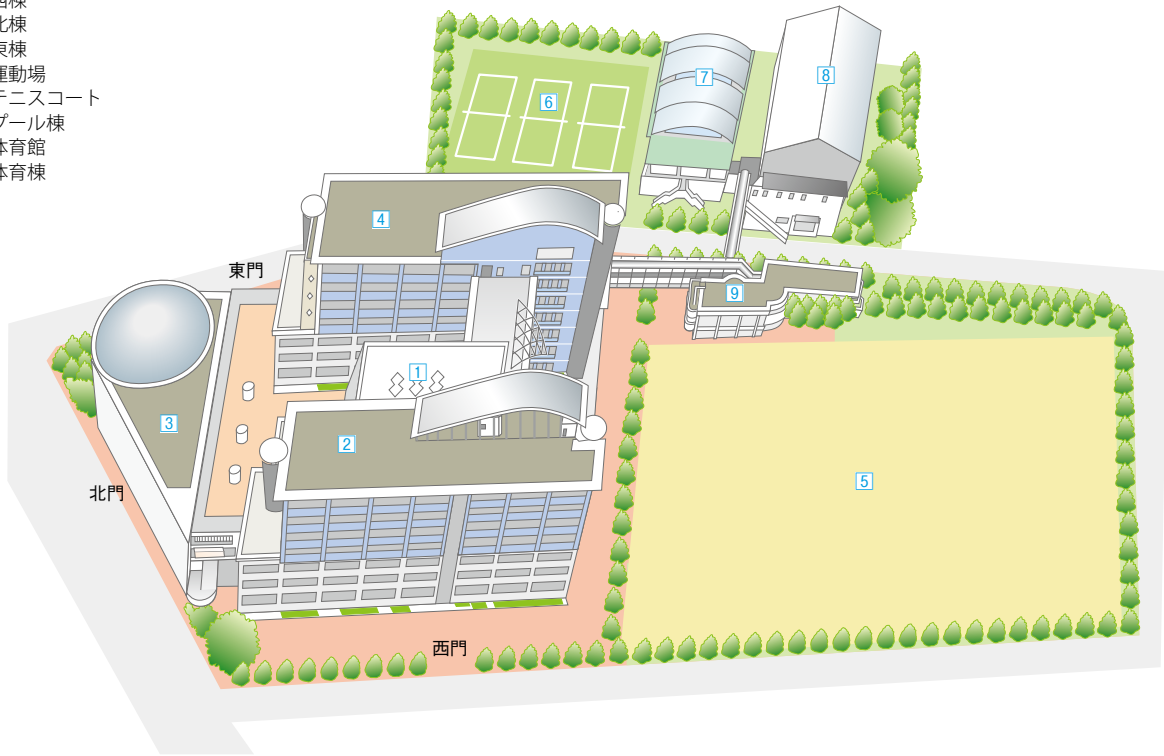
土地面積 48,370.10㎡

区 分	延床面積（㎡）
東京都立産業技術高等専門学校（荒川キャンパス） （本館、実験実習館、航空実習館、体育館、科学技術展示館）	31,496.24

キャンパスマップ

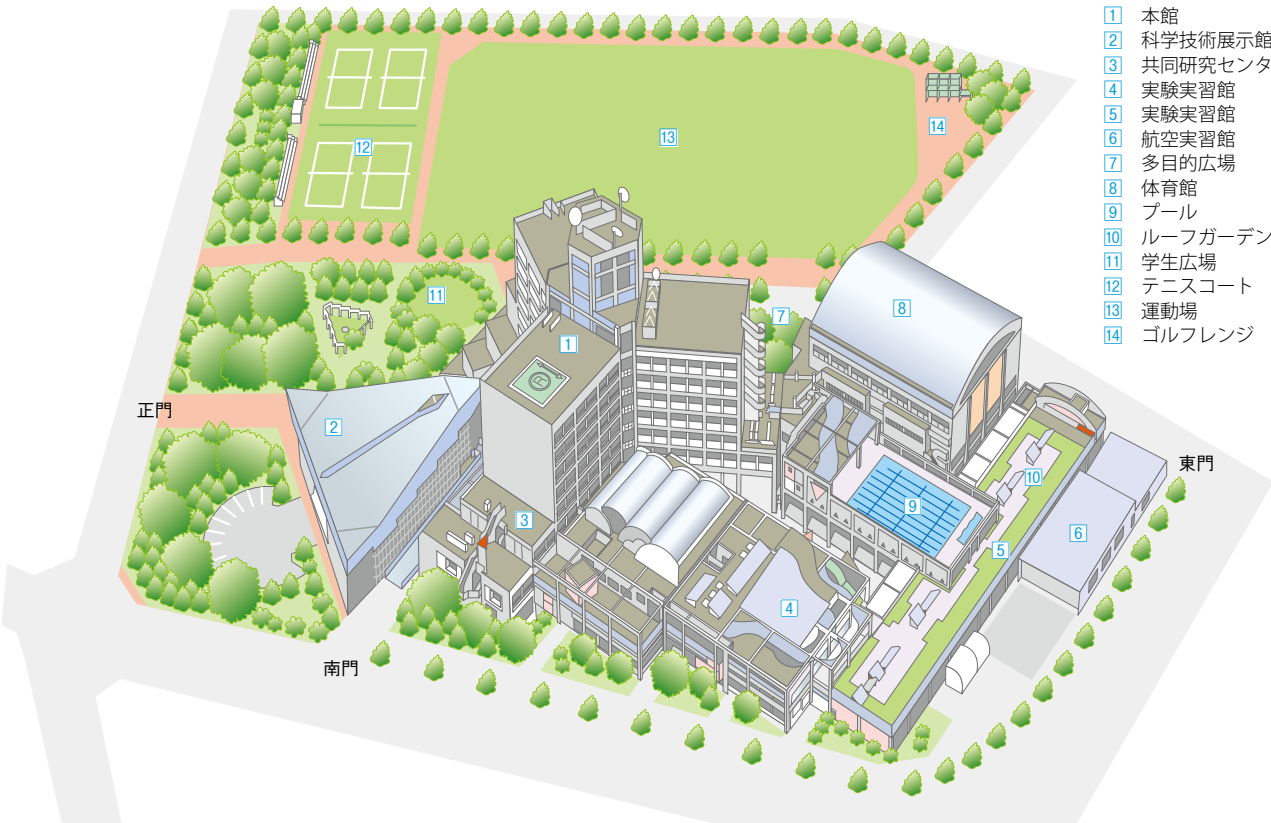
高専品川キャンパス

- 1 中央棟
- 2 西棟
- 3 北棟
- 4 東棟
- 5 運動場
- 6 テニスコート
- 7 プール棟
- 8 体育館
- 9 体育棟



高専荒川キャンパス

- 1 本館
- 2 科学技術展示館
- 3 共同研究センター
- 4 実験実習館
- 5 実験実習館
- 6 航空実習館
- 7 多目的広場
- 8 体育館
- 9 プール
- 10 ルーフガーデン
- 11 学生広場
- 12 テニスコート
- 13 運動場
- 14 ゴルフレンジ



アクセスマップ

日野キャンパス

- システムデザイン学部
主に3・4年次
- システムデザイン研究科

所在地

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6

アクセス

JR中央線「豊田」駅(北口)から徒歩約20分
または京王バス「平山工業団地循環」乗車(約10分)、「旭が丘中央公園」下車徒歩約5分
JR中央線「八王子」駅(北口)から京王バス「日野駅」行または
「豊田駅北口」行乗車(約15分)、「大和田坂上」下車徒歩約10分
JR八高線「北八王子」駅から徒歩約15分

飯田橋キャンパス

- オープンユニバーシティ

所在地

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館3階

アクセス

JR中央・総武線「飯田橋」駅東口徒歩約3分
東京メトロ東西線「飯田橋」駅すぐ

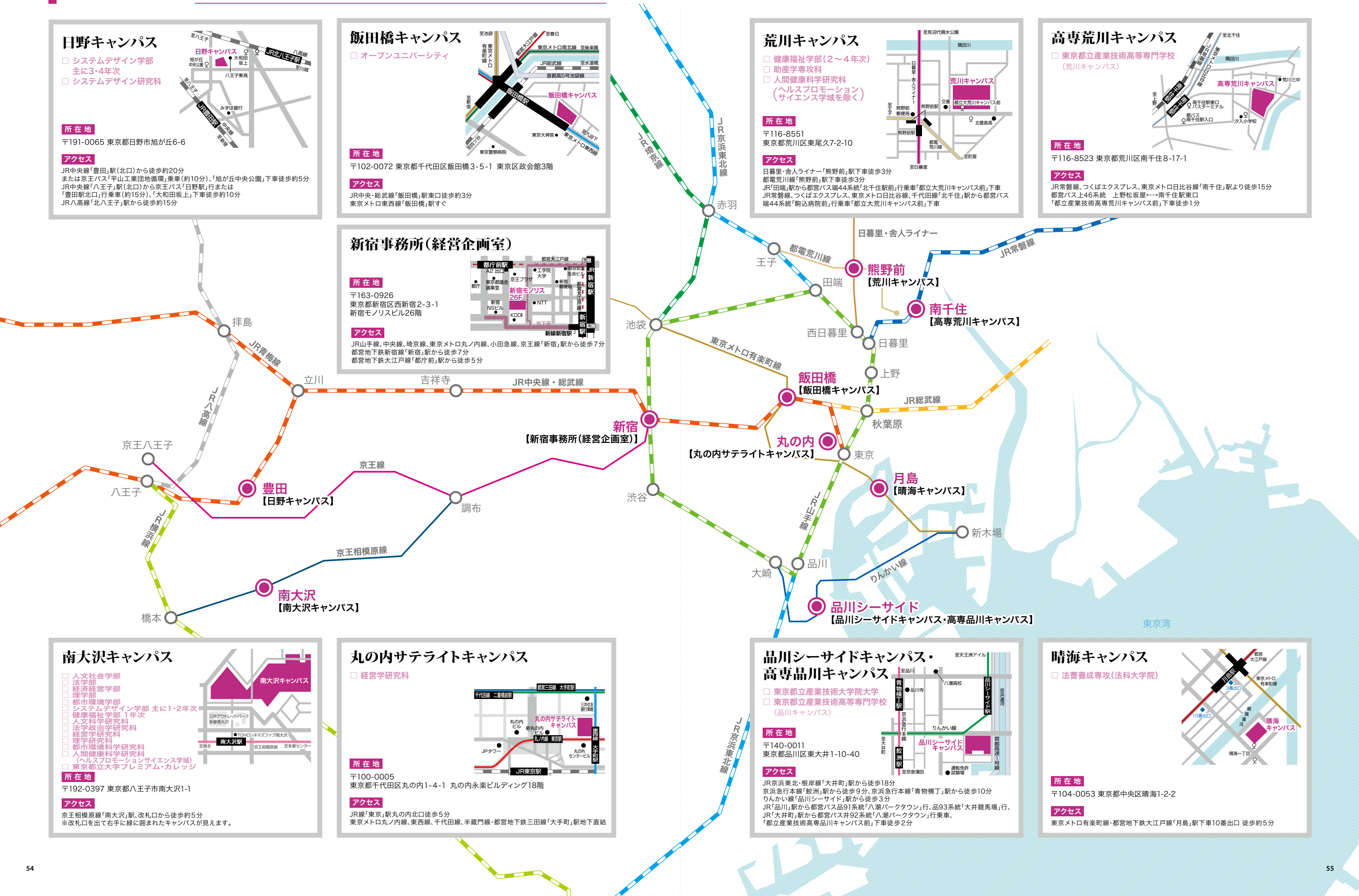
新宿事務所(経営企画室)

所在地

〒163-0926
東京都新宿区西新宿2-3-1
新宿モノリスビル26階

アクセス

JR山手線、中央線、埼京線、東京メトロ丸ノ内線、小田急線、京王線「新宿」駅から徒歩7分
都営地下鉄新宿線「新宿」駅から徒歩7分
都営地下鉄大江戸線「都庁前」駅から徒歩5分



南大沢キャンパス

- 人文社会学部
- 法学部
- 経済経営学部
- 理学部
- 都市環境学部
- システムデザイン学部 主に1・2年次
- 健康福祉学部 1年次
- 人文科学研究科
- 法学政治学研究科
- 経営学研究科
- 理学研究科
- 都市環境科学研究科
- 人間健康科学研究科
- (ヘルスプロモーションサイエンス学域)
- 東京都立大学プレミアム・カレッジ

所在地

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

アクセス

京王相模原線「南大沢」駅、改札口から徒歩約5分
※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。



丸の内サテライトキャンパス

- 経営学研究科

所在地

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

アクセス

JR線「東京」駅丸の内北口徒歩5分
東京メトロ丸ノ内線、東西線、千代田線、半蔵門線・都営地下鉄三田線「大手町」駅地下直結



荒川キャンパス

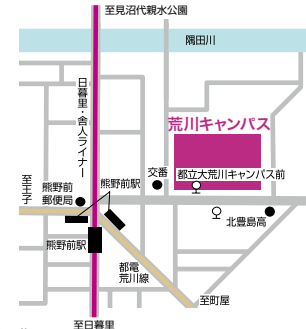
- 健康福祉学部(2～4年次)
- 助産学専攻科
- 人間健康科学研究科
(ヘルスプロモーション)
(サイエンス学域を除く)

所在地

〒116-8551
東京都荒川区東尾久7-2-10

アクセス

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分
都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分
JR「田端」駅から都営バス端44系統「北千住駅前」行乗車「都立大荒川キャンバス前」下車
JR常磐線、つくばエクスプレス、東京メトロ日比谷線、千代田線「北千住」駅から都営バス
端44系統「駒込病院前」行乗車「都立大荒川キャンバス前」下車



高専荒川キャンパス

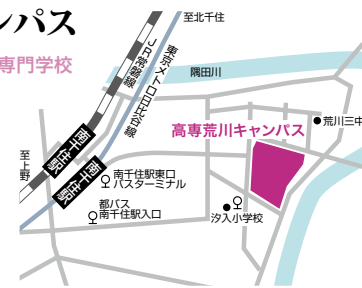
- 東京都立産業技術高等専門学校
(荒川キャンパス)

所在地

〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1

アクセス

JR常磐線、つくばエクスプレス、東京メトロ日比谷線「南千住」駅より徒歩15分
都営バス上46系統 上野松坂屋→南千住駅東口
「都立産業技術高専荒川キャンバス前」下車徒歩1分



品川シーサイドキャンパス・高専品川キャンパス

- 東京都立産業技術大学院大学
- 東京都立産業技術高等専門学校
(品川キャンパス)

所在地

〒140-0011
東京都品川区東大井1-10-40

アクセス

JR京浜東北・根岸線「大井町」駅から徒歩18分
京浜急行本線「鰺洲」駅から徒歩9分、京浜急行本線「青物横丁」駅から徒歩10分
りんかい線「品川シーサイド」駅から徒歩3分
JR「品川」駅から都営バス品91系統「八潮パークタウン」行、品93系統「大井競馬場」行、
JR「大井町」駅から都営バス井92系統「八潮パークタウン」行乗車、
「都立産業技術高専品川キャンバス前」下車徒歩2分



晴海キャンパス

- 法曹養成専攻(法科大学院)

所在地

〒104-0053 東京都中央区晴海1-2-2

アクセス

東京メトロ有楽町線・都営地下鉄大江戸線「月島」駅下車10番出口 徒歩約5分



問合せ

区分	問い合わせ先	備考
経営企画室	03-5990-5389	法人全般に関すること
南大沢キャンパス	042-677-1111(代)	東京都立大学（人文社会学部、法学部、経済経営学部、理学部、都市環境学部）に関すること、東京都立大学プレミアム・カレッジに関すること
日野キャンパス	042-585-8606(代)	東京都立大学（システムデザイン学部）に関すること
荒川キャンパス	03-3819-1211(代)	東京都立大学（健康福祉学部）に関すること
晴海キャンパス	03-3536-7756	東京都立大学（法科大学院）に関すること
丸の内サテライトキャンパス	03-6268-0521	東京都立大学（経営学研究科）に関すること
飯田橋キャンパス	03-3288-1050	東京都立大学オープンユニバーシティに関すること
品川シーサイドキャンパス	03-3472-7831	東京都立産業技術大学院大学に関すること
高専品川キャンパス	03-3471-6331	東京都立産業技術高等専門学校に関すること
高専荒川キャンパス	03-3801-0145	東京都立産業技術高等専門学校に関すること
産学公連携センター	042-677-2729	産学公連携に関すること

HP

東京都公立大学法人

Tokyo Metropolitan Public University Corporation



東京都公立大学法人：<https://www.houjin-tmu.ac.jp/>

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学



東京都立大学：<https://www.tmu.ac.jp/>

東京都立
産業技術大学院大学

ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY



東京都立産業技術大学院大学：<https://aiit.ac.jp/>

Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology

東京都立産業技術高等専門学校



東京都立産業技術高等専門学校：<https://www.metro-cit.ac.jp/>

事業概要 2024年度（2025年改訂版）

2024年 8 月発行
2025年 3 月一部改訂

【編集・発行】

東京都公立大学法人経営企画室
〒163-0926 東京都新宿区西新宿 2 - 3 - 1
電話 03-5990-5389